

昭和五十二年

日本病院会

昭和52年定期総会

昭和 52 年 5 月 21 日 (土)

東京都・全国町村会館

日本病院会

東京都千代田区二番町 2 番地

(番町共済会館)

電話 東京 (03)265-0077



総 会 次 第

開 会

会 長 挨 拶

案 件

〔 報 告 事 項 〕

1. 昭 和 5 1 年 度 事 業 報 告 に つ い て
2. 国 際 病 院 学 会 開 催 に つ い て
3. そ の 他

〔 議 案 〕

第 1 号 議 案 昭 和 5 1 年 度 歳 入 歳 出
決 算 の 承 認 を 求 め る 件

第 2 号 議 案 会 員 増 強 に 関 す る 件

閉 会

目 次

◎ 昭和51年度事業報告

第 1 庶 務	1
第 2 陳 情	1
第 3 会 議 (総会、代議員会、全理事会、常任理事会)	2
第 4 定例勉強会	10
第 5 全国勉強会	16
第 6 セミナー	27
第 7 各種委員会	39
第 8 内科臨床協議会 (Joint Conference)	48
第 9 診療録管理通信教育	50
第 10 メディカルクラーク通信教育	54
第 11 病院監督者研修会	55
第 12 病院管理視察研究会	57
第 13 海外病院視察研究会	57
第 14 日本病院会学会、'76 国際モダンホスピタルショー	58
第 15 第20回国際病院学会委員会	59
第 16 第17回人間ドック学会	63
第 17 病院医療危機突破大会	64
第 18 図書出版	65
(附録) 昭和51年度勉強会委員名簿	66
昭和51年度各種委員会委員名簿	70
要 望 書	77

◎ 議 案

第 1 号議案 昭和51年度歳入歳出決算の承認を求める件	83
第 2 号議案 会員増強に関する件	91

昭和51年度事業報告 (自 昭和51年4月1日) (至 昭和52年3月31日)

第1. 庶 務

- 1) 昭和51年度人間ドック指定病院16病院
- 2) 昭和51年度自動化検診指定9施設
- 3) 5.15～16 中華民国医院行政協会総会に渡辺常任理事出席
- 4) 5.20 岡山市、国際ホテルでアジア病院連盟理事会を開催
日本・台湾・韓国・比国の病院協会より理事出席
- 5) 5.21～23 第2回日本病院会学会(会場川崎医科大学病院)に中華民国医院行政協会より
22名、大韓病院協会より12名比国病院協会より1名、計35名参加
- 6) 10.1～2 アメリカ病院協会理事長カスカード氏来日
- 7) 11.14～19 比国病院協会総会に河野常任理事落合AHF事務総長出席
- 8) 12.4 社団法人日本病院会発足

第2. 陳 情

- 1) 5.24 スプリンクラー等防災設備取付に対し特別措置の要望書を厚生大臣・自治大臣に
提出
- 2) 7.6 技術料ならびに入院料(室料・看護料・給食料)の適正引き上げの要望書を厚生大
臣・日医会長・中医協会長・東京都知事に提出
- 3) 7.23 「電気税・ガス税」減免に関する請願を衆議院議長に提出
- 4) 7.30 社会保険診療報酬請求事務・コンピュータ処理上の障害とその改善についての要
望書を厚生大臣・日医会長・東京都知事・社会保険庁・社会保険診療支払基金・
健保連・国民健康保険中央会に提出
- 5) 3.28 病院診療改訂に関する要望書を厚生大臣・日医会長・中医協会長に提出

第3. 会 議

1. 総 会

昭和51年定期総会

5.21(金)
川崎医科大学付属病院

- (1) 昭和50年度歳入歳出決算の承認を求むる件
- (2) 通信教育部昭和51年度上期分(昭51.7.1~昭52.3.31) 予算案の承認を求むる件
- (3) 図書出版部特別会計決算の承認を求むる件

昭和51年臨時総会

3.19(土)
食 糧 会 館

- (1) 昭和52年度事業計画(案)に関する件
- (2) 昭和52年度歳入歳出予算(案)に関する件
- (3) 昭和52年度会費賦課徴集額に関する件
- (4) 昭和52年度役員改選に関する件

2. 代議員会

昭和51年定期代議員会

5.21(金)
倉敷市・
川崎医科大学付属病院

- (1) 昭和50年度歳入歳出決算の承認を求むる件
- (2) 通信教育部昭和51年度予算案の承認を求むる件
- (3) 図書出版部特別会計仮決算の承認を求むる件

昭和51年第1回臨時代議員会

9.4(土)
番 町 共 済 会 館

- (1) 役員を選出について
- (2) 政治連盟設置に関する件
- (3) 病院大会開催に関する件
- (4) 病院会館建設に関する件
- (5) 国際病院学会開催に関する件

昭和51年第2回臨時代議員会

3.19(土)
食 糧 会 館

- (1) 昭和52年度事業計画(案)に関する件
- (2) 昭和52年度歳入歳出予算(案)に関する件
- (3) 昭和52年度会費賦課徴集額に関する件
- (4) 昭和52年度役員改選に関する件

3. 全理事会

第1回全理事会

5.21(金)

倉敷市・

川崎医科大学付属病院

- (1) 昭和50年度歳入歳出決算の承認を求むる件
- (2) 通信教育部昭和51年度予算案の承認を求むる件
- (3) 図書出版部特別会計仮決算の承認を求むる件

第2回全理事会

9.4(土)

番町共済会館

- (1) 補欠選挙に関する件
- (2) 政治連盟設置に関する件
- (3) 病院大会開催に関する件
- (4) 病院会館建設に関する件
- (5) 国際病院学会開催に関する件
- (6) 入会会員の承認に関する件
- (7) ドックの指定病院の承認に関する件
- (8) 国際病院学会に関し賛助会員(A会員)と懇話会開催の件

第3回全理事会

1.22(土)

番町共済会館

- (1) 昭和52年度事業計画(案)に関する件
- (2) 昭和52年度予算編成に伴う諸問題に関する件
- (3) 昭和52年度会費値上げに関する件
- (4) 入会会員の承認について
- (5) 年金制度委員会設置に関する件
- (6) 病院業務についてのアンケートについて
- (7) 旧協会長を日本病院会の顧問に委嘱する件

第4回全理事会

3.5(土)

東京トラック事業

健保会館

- (1) 昭和52年度事業計画(案)に関する件
- (2) 昭和52年度歳入歳出予算(案)に関する件
- (3) 昭和52年度会費賦課徴収額に関する件
- (4) 昭和52年度役員改選に関する件
- (5) 入会会員の承認に関する件
- (6) 会員資格喪失確認に関する件

4. 常任理事会

第1回常任理事会

4.6(火)
番町共済会館

- (1) 昭和51年度海外病院視察実施に関する件
- (2) 日本病院会学会評議員会に関する件
- (3) 5月21日開催の総会に関する件
- (4) 人間ドック実施病院の指定に関する件
- (5) 入会会員の承認に関する件
- (6) 中華民国医院行政協会(台湾病院協会)総会出席者に関する件

第2回常任理事会

4.17(土)
番町共済会館

- (1) 昭和50年度歳入歳出決算(案)に関する件
- (2) 昭和51年度組織強化に関する件
- (3) 5月20日開催のアジア病院連盟理事会に関する件
- (4) 総会当日開催の役員会(代議員会・理事会)ならびに委員会出席者旅費に関する件
- (5) 入会会員の承認に関する件
- (6) 学会評議員の推薦について
- (7) 人間ドック指定病院の承認に関する件

第3回常任理事会

5.15(土)
番町共済会館

- (1) 日本病院会学会会則一部変更に関する件
- (2) 昭和50年度図書出版部収支仮決算に関する件
- (3) メディカルクラークの通信教育に関する件
- (4) 福祉食品流通研究会助成に関する件
- (5) 会館建設委員会について
- (6) 9月18日(土)の定例常任理事会開催地に関する件
- (7) 入会会員の承認に関する件
- (8) 次回常任理事会開催期日について

第4回常任理事会

6.1(火)
番町共済会館

- (1) 公印規則制定に関する件
- (2) 教育委員会部会研究会(勉強会)に図書室部会(仮称)新設に

関する件

- (3) 日本病院会学術雑誌刊行に関する件
- (4) 医療費値上げ要求書提出に関する件
- (5) 年金基金並びに私的年金に関する件
- (6) 医療対策委員会新設に関する件
- (7) 人間ドック実施病院の指定に関する件
- (8) 入会会員の承認に関する件

第5回常任理事会

6.19(土)
番町共済会館

- (1) メディカルクラーク通信教育に関する件
- (2) 病院会の出版部に関する件
- (3) 日本病院会学会の評議員の推薦に関する件
- (4) 病院大会開催に関する件
- (5) 主婦連との会合に関する件
- (6) 海外病院視察団に関する件
- (7) 入会会員の承認に関する件

第6回常任理事会

7.6(火)
番町共済会館

- (1) 政治連盟結成に関する件
- (2) 医療費値上げ要望書に関する件
- (3) 社会保険診療報酬請求事務、コンピュータ処理の障害排除の要望書に関する件
- (4) メディカルクラーク通信教育に関する件
- (5) 入会会員の承認に関する件
- (6) 病院長セミナーの司会者について
- (7) 9月18日(土)京都で開催の常任理事会について

第7回常任理事会

7.23(金)
東京ヒルトンホテル

- (1) 政治連盟に関する件
- (2) 全理事会開催に関する件
- (3) 入会会員に関する件
- (4) 診療報酬改訂要求についての意見交換会に出席案内について

- (5) 副院長セミナーの計画について
- (6) 77年国際モダンホスピタルショーの主催者について
- (7) 室料差額について
- (8) 事務局職員の採用について

第8回常任理事会

8.3(火)
番町共済会館

- (1) 学術雑誌の発刊に関する件
- (2) 病院大会に関する件
- (3) 9月18日京都にて開催の常任理事会に関する件
- (4) 常任理事会開催期日(第1火)変更に関する件
- (5) 入会会員に関する件
- (6) 勉強会と管理研究部会の名称統一について
- (7) 管理研究部会の委員に研究会参加費免除について

第9回常任理事会

8.21(土)
番町共済会館

- (1) 役員の補欠選挙に関する件
- (2) 全理事会開催に関する件
- (3) 代議員会開催に関する件
- (4) アジア病院連盟の病院見学に関する件
 - ① 韓国病院見学
 - ② フィリッピン
 - ③ 台湾
- (5) 室料差額に関する日本病院会の見解に関する件
- (6) 学術雑誌創刊号の年度内発刊と所要経費および名称の承認に関する件
- (7) 入会会員の承認に関する件

第10回常任理事会

9.18(土)
大津市・大塚比叡山荘

- (1) 「日本病院会館」設立準備委員会に関する件
- (2) マニラにて開催のフィリッピン病院協会第27回定期総会およびアジア病院連盟会議出席に関する件
- (3) 救急医療体制の総括的基本方針に関する件

- (4) 常任理事会開催期日に関する件
- (5) 入会会員の承認に関する件
- (6) ドック実施病院の指定について
- (7) 岡山県選出の代議員の補充に関する件

第11回常任理事会

10.5(火)
番町共済会館

- (1) 病院大会実施要領に関する件
- (2) 日本病院会政治連盟各府県代表役員に関する件
- (3) 日本病院会政治連盟51年度分会費請求に関する件
- (4) 政治連盟推薦代議士および推薦状について
- (5) 昭和52年度事業計画案（全国勉強会）に関する件
- (6) 国際病院学会に関する件
- (7) 通信教育第5回生の認定証授与に関する件
- (8) 三重県選出補充代議員の承認について
- (9) 人間ドック実施病院の指定について
- (10) 次回常任理事会について

第12回常任理事会

10.16(土)
全国町村会館

- (1) 室料差額に関する日本病院会の見解に関する件
- (2) 入会会員の承認について
- (3) 「病院施設に対する容積率適用の緩和に関する請願書」に関する件
- (4) 日本病院会都道府県支部設置に関する件
- (5) 第2回広島県病院学会後援に関する件

第13回常任理事会

11.2(火)
番町共済会館

- (1) 日本病院会政治連盟推薦代議士に関する件
- (2) 昭和52年度海外病院視察計画に関する件
- (3) 入会会員の承認に関する件
- (4) ドック実施病院の指定について
- (5) 第3回日本病院会学会のシンポ・特別講演等について

第14回常任理事会

11.20(土)
番町共済会館

- (1) 日本病院会政治連盟役員に関する件

- (2) 来年度予算編成に関する 2・3 の問題点に関する件
- (3) 来年度国際病院学会募金に関する件
- (4) 来年度海外病院視察計画に関する件
- (5) 入会会員の承認について
- (6) 次回全理事会開催について
- (7) 12月の常任理事会開催日時等について
- (8) 第3回日本病院会学会のシンポ・パネル・特別講演のテーマ・演題について
- (9) 病院会ニュース新年号発刊について

第15回常任理事会

2.7(火)
番町共済会館

- (1) 日本病院会の法人化に関する件
- (2) 昭和53年度第4回日本病院会学会開催地受入れに関する件
- (3) アメリカにおける国際病院学会のアナウンスについて
- (4) 和歌山県病院協会主催の病院管理学会に講師の派遣依頼について
- (5) 入会会員の承認について

第16回常任理事会

12.18(土)
番町共済会館

- (1) 昭和52年度歳入歳出予算(案・第1次)に関する件
- (2) 昭和52年度会費値上げに関する件
- (3) 病院会館建設に関する件
- (4) 昭和52年1月22日(土)全理事会(代議員会)開催に関する件
- (5) 会員増強に関する件
- (6) 入会会員の承認について

第17回常任理事会

1.8(土)
番町共済会館

- (1) 昭和52年度事業計画(案)に関する件
- (2) 事務長養成通信教育(仮称)実施に関する件
- (3) 入会会員の承認について
- (4) 人間ドック実施病院の指定について
- (5) 自動化健診実施施設の指定について

第18回常任理事会

2.5(土)

番町共済会館

- (1) 日本病院会（任意団体）余剰金処分に関する件
- (2) 日本病院会昭和52年度歳入歳出予算（案）に関する件
- (3) 昭和52年度会費値上げに関する件
- (4) 入会会員の承認について
- (5) 51年度各種委員会・勉強会の委員反省会開催について

第19回常任理事会

2.19(土)

番町共済会館

- (1) 昭和52年度事業計画（案）に関する件
- (2) 昭和52年度会費値上げに関する件
- (3) 昭和52年度歳入歳出予算（案）に関する件
- (4) 入会会員の承認に関する件
- (5) 会員資格喪失確認の件
- (6) ドック実施病院の指定について
- (7) 日本診療録管理学会会則ならびに評議員推薦に関する件
- (8) 次回開催の全理事会・代議員会・総会の期日等に関する件
- (9) 役員改選に関する件
- (10) アジア病院連盟会議開催に関する件

第4. 定例勉強会

1. 病院診療部会		参加人員
4.27(火)	帝京大学医学部 附属病院	大学病院における臨床系講座 7名
6.15(火)	佼成病院	病院における外来運営 15名
7.20(火)	東京厚生年金病院	臨床検査室におけるコンピュータについて 29名
8.17(火)	番町共済会館	看護職員の配置について(看護と合同) 105名
9.21(火)	関東通信病院	総合病院における健康管理科 7名
10.19(火)	日本赤十字社 医療センター	健康棟構想 9名
11.16(火)	牧田総合病院	総合病院における予防医学活動 77名
12.9(木)	三井記念病院	高機能病院の診療 17名
1.18(火)	国立療養所中野病院	胸部疾患の専門病院が成りたち得るか 20名
2.15(火)	都立 府中療育センター	重症心身障害児の療育について 6名
3.15(火)	自衛隊中央病院	(1) 研修医教育及び教育終了後の処遇について (2) 眼科、耳鼻咽喉科等、少数専門医の確保対策について (3) 看護婦の教育終了後の処遇について 6名
2. 医事研究会		
5.13(木)	番町共済会館	これだけは知っておきたい基礎医学 75名 三井記念病院内科部長 百瀬 達也
6.16(木)	健保連会館	患者サービスについて 71名
8.18(木)	番町共済会館	医事課職員に必要な基礎医学 103名 織本病院長 織本 正慶
10.13(木)	池の坊お茶水学院	臨床検査の点数請求洩れ防止対策に関する検討 (臨床検査と合同) 141名
10.20(木)	電設健保会館	これだけは知っておきたい様式の知識 103名
12.15(木)	食糧会館	請求洩れ防止対策 140名
2.23(木)	東京トラック事業 健保会館	自費料金に関する諸問題 130名
3. 庶務人事研究会		
5.20(木)	番町共済会館	職員レクリエーションと診療費減免について 17名
9.16(木)	番町共済会館	諸手当、定年制について人事考課について 19名
1.19(木)	番町共済会館	(1) 実例に基づく入院、外来別患者1人当りの診療 58名

原価の計算について(会計経理と合同)

(2)社内預金及び退職手当の保全措置等の解説について

3.16(水) 番町共済会館 病院組織図と事務分掌規定 23名

4. 用度研究会

8.20(金) 番町共済会館 物価シリーズ・グループ討議 66名

Aグループ 医薬品の情報交換 (A29)

Bグループ 一般消耗品の情報交換 (B31)

10.22(金) 富士写真フィルム(株) 工場見学及び市況情報交換 34名
富士宮工場

12.17(金) 東京トラック事業 健保会館 (1). 全国勉強会(高松市)報告 63名

(2) 情報交換—アンケートの集計報告

① 酸素(液酸・気酸)・笑気・空気価格調査

② 重油価格調査

(3) 医薬品の購入方法(山田総合病院方式)

2.18(金) 番町共済会館 (1) 缶詰食品の購入と知識 43名

(2) 基準寝具・衣料リースの実態(アンケート)報告

5. 施設研究会

4.28(水) 倭成病院7階講堂 新築完工した倭成病院の見学 28名

6.23(水) 電設健保会館 病院の排水問題について 30名

9.10(水) 電設健保会館 病院の床材とその管理について(ハウスキーピングと協賛) 26名

10.27(水) 番町共済会館 施設管理上における自営、外注について 24名

12.22(水) 番町共済会館 病院の防災、防火対策 37名

(順天堂医院における防災対策)

2.23(水) 番町共済会館 病院における施設経費と予算 32名

6. 会計経理研究会

4.21(水) 私学会館 「会計経理課員の基礎知識」 41名

(1) 病院会のはたらき 日本病院会 大城 三郎

(2) 実務上の基礎

太陽神戸銀行 羽山 潔
東京経営相談所次長

(3) 正しい紙幣の数え方

太陽神戸銀行 鈴木 武司
高円寺支店業務係

		(4) 金融機関取引きの基礎知識 太陽神戸銀行 東京経営相談所次長 羽山 潔	
7.21(木) 番町共済会館	(1) 病院の税務対策	公認会計士 森 久雄	27名
	(2) 簡単な原価計算	済生会中央病院経理課長 桜井健二郎	
9.22(木) 東海大学付属病院	(1) 病院見学		55名
	(2) アンケートによる 経営分析の発表(関東地区のみ)		
1.19(木) 番町共済会館	(1) 実例に基づく入院、外来別患者1人当りの診療原価の計算について 河北病院事務長 酒泉 春雄		52名
	(2) 社内預金及び退職手当の保全措置等の解説	三井信託銀行 法人信託室課長 石坂 譲	
7. 看護管理部会			
7.15(木) 食糧会館	新人受入れを評価する		93名
8.17(火) 番町共済会館	看護職員の配置を考える		105名
2.3(木) 番町共済会館	シンポジウム・新卒業生に何を期待するか		106名
8. 薬事管理部会			
5.10(月) 番町共済会館	(1) 新年度委員推せんの特 (2) 定例勉強会スケジュール担当決定		8名
6.16(木) 私学会館	GPSPの話をきく	(株) マルタケ 山本 功	22名
8.11(木) 番町共済会館	薬価基準銘柄別収載の問題点	委員 古川 正 蒲田総合病院 安藤 秀雄	28名
10.13(木) 番町共済会館	投薬窓口における用法指示と注意事項について	国立病院 医療センター 横山 明正	46名
12.8(木) 番町共済会館	外来患者の投薬後の諸問題について	国立横須賀病院 辻 昭治郎	25名
2.9(木) 番町共済会館	医薬品流通の安全性	武田薬品(株) 山田 裕久	29名

9. 栄養管理部会

4.16(金)	都立清瀬小児病院	小児人工透析と栄養管理	37名
6.8(火)	東海大学付属病院	施設見学と厨房の現状と将来のビジョン	76名
7.27(火)	番町共済会館	栄養指導料について	40名
8.18(水)	都立駒込病院	病院のコンピューターシステムについて施設見学	30名
8.25(水)	都立駒込病院	病院のコンピューターシステムについて施設見学	26名
12.8(水)	日本専売公社 東京病院	調理師の認定に関する検討(調理と合同)	56名
2.1(火)	聖マリアンナ医科 大学病院	施設見学とこれからの病院給食について	70名

10. 調理研究会

5.14(金)	順天堂医院	病院調理師の資格についてグループ討議と発表	32名
7.14(水)	日大板橋病院	洗剤と正しい食器の洗い方 イーエル(株) 不破彦麿	41名
9.16(木)	東京医大病院	調理師の資格について 北里大学病院 城井美子	40名
12.8(水)	日本専売公社病院	調理師認定に関する検討(調理・栄養と合同)	27名
3.9	東京厚生年金病院	中性洗剤を追求 映画 倉敷中央病院紹介	51名

11. 病歴部会

4.10(土)	都立豊島病院	病歴室見学他	42名
5.15(土)	食糧会館	病歴士に必要な内科学その3	
6.12(土)	食糧会館	病歴士に必要な外科学その1	24名
7.3(土)	東京厚生年金病院	病歴室見学他	50名
7.24(土)	東京健保会館	病歴士に必要な外科学その2	
10.9(土)	北里大学病院	病歴室見学他	44名
1.8(土)	聖路加国際病院	診療記録管理室見学他	39名

12. 中小病院管理部会

5.14(金)	番町共済会館	病院検査室の合理化	45名
6.22(火)	麴町会館	就業規則の不備と院内におけるトラブルの実際例	56名
9.21(火)	番町共済会館	医療管理の合理化 (メデイカルクラークの具体的な成果について)	37名

11.9(火)	私学振興財団	中小病院における退職金制度の実態と問題と これからのあり方について (主として現実からのアプローチ)	30名
12.9(木)	番町共済会館	(1) 個人病院を対象とした年度末決算で注意すべき点 (2) 全病院を対象とした源泉税の年末調整について注意すべき点	31名
2.24(木)	織本病院	(1) 中小病院の生き抜く道(一つの変った行き方) (2) 織本病院見学	71名
3.18(金)	私学振興財団	(1) 病院のパートタイムの就業規則 (2) 期末決算書作成上の留意点と税務対策	43名
13. 放射線部会			
4.5(月)	川崎市立病院	技師職としての働きやすい組織のあり方	24名
6.18(金)	佼成病院	これからの技師教育についての諸問題	20名
8.20(金)	日赤医療センター	放射線科における人間関係	20名
10.29(金)	中央鉄道病院	協調性に欠ける技師の指導について	22名
12.17(金)	東京トラック事業 健保会館	(1) 超音波診断装置の現状と将来 (2) ゼログラフィーの将来性について	37名
2.18(土)	同愛記念病院	(1) 放射線科における保険点数の検討 (2) さくらX-レイフィルムタイプAについて	57名
14. 臨床検査管理部会			
6.6(日)	順天堂医院階段教室	H.B抗原対策について	133名
10.13(水)	池坊お茶の水学院	臨床検査の点数請求洩れ防止対策に関する検討 (医事研と合同)	141名
2.25(金)	順天堂医院階段教室	劇物・毒物の管理	65名
15. ハウスキーピング部会			
4.28(水)	順天堂医院	院内感染防止と消毒	36名
5.19(水)	聖路加国際病院	より効果的な資材、機器備品の検討	22名
8.25(水)	東海大学付属病院	院内施設見学	29名
9.10(金)	電設健保会館	病院の床材とその管理(施設と合同)	17名

12.16(木) 慶応義塾大学病院	病院環境管理の内容と進め方	23名
2.23(木) 都立荏原病院	病院におけるハウスキーピング業務の分析	20名
16. 図書室部会		
7.17(土) 番町共済会館	(1) 委員会の運営について	5名
	(2) 勉強会の運営について	
11.11(木) 番町共済会館	(1) 事業計画について	5名
	(2) 委員代表等について	
1.27(月) 番町共済会館	(委員長のまとめ)	5名
	(1) アンケート原稿の作成	
	(2) アンケート発送等打合せ	

第5. 全国勉強会

1. 事務管理研究会

12.13~14 (月~火)

ホンダランド鈴鹿

サーキット研修センター

(34名)

(1) 購買条件の複雑化と購買倫理

聖路加国際病院 落合勝一郎

(2) シンポジウム

「病院経済から見た看護問題とその対策」

遠山病院 遠山 豪

聖路加国際病院 落合勝一郎

病院管理研究所 石原 信吾

武蔵野赤十字病院 東 義晴

(3) シンポジウム

「事務長としての組合問題の取り組み方」

聖路加国際病院 落合勝一郎

病院管理研究所 石原 信吾

武蔵野赤十字病院 東 義晴

(4) 機械設備導入と生産性

武蔵野赤十字病院 東 義晴

(5) 中小病院の役割と経営安定方策

病院管理研究所 石原 信吾

(6) 最近の医学の動向と病院の行くえ

佼成病院 小野田敏郎

(7) シンポジウム

「減速経済下の病院経営に弾力性をもたせるには」

——変化と危機に対応するための各種方策——

遠山病院 遠山 豪

聖路加国際病院 落合勝一郎

病院管理研究所 石原 信吾

武蔵野赤十字病院 東 義晴

- (2) 用度業務の現状と問題点
高松赤十字病院用度課長 前川 昭
- (3) 講演「病院食品流通システムづくり」
日本バプテスト病院長 榊田 博
経営コンサルタント 長尾 明幸
- (4) 給食材料の上手な仕入れ方の実務（青果、魚介類）
聖路加国際病院給食課次長 古谷 一信
- (5) 用度業務の電算機導入に伴う諸問題
（システム検討とその経過について）
本田 力
- (6) 医薬品購買管理のポイント
（東京におけるメーカー主要薬品の価格実態について）
安永勘一郎
- (7) 講演「購買倫理」
聖路加国際病院常務理事 落合勝一郎
- (8) 価格の実態調査（医薬品、一般消耗品、その他）
——東京・定例研究会“物価シリーズ”報告——
聖路加国際病院用度課長 塩山 雅英
- (9) 全体討議
- (10) 全体討議のまとめ

5. 施設研究会

5.13～14（木～金）
山梨県 甲府市 医師会館
（77名）

- (1) 山梨県における病院施設管理の現況
山梨県立中央病院施設管理係長 坂本 良洋
- (2) 施設管理の自営と外注の諸問題
自治医科大学施設課長 倉持 一雄
- (3) 中小病院の施設管理
北品川総合病院施設課長 中島昭二郎
- (4) 水資源と節水 癌研付属病院技師長 松岡 文男
- (5) 病院の空調運転の考え方
東京警察病院施設課長 石原 英世

- (6) ボイラー及び圧力容器の保守管理
都立豊島病院設備課 中西 照録
- (7) 病院と最近の各種リース制度
聖路加国際病院常務理事 落合勝一郎
- (8) 病院の施設管理状況実態調査の集計発表
- (9) グループ討議（参加者4グループ）

6. 会計経理研究会

10.14～15（木～金）
大阪府豊林会館
(105名)

- (1) 病院の税務対策 小原 病院長 小原知二郎
- (2) アンケートによる病院の経営分析の発表（全国版）
三楽病院会計係長 戸張 義明
- (3) 最近の経済情勢と今後の展望
太陽神戸銀行経営相談所長 小松 隆三
- (4) 病院の貸借対照表の問題点
兵庫医科大学病院常勤理事 菌部 雅一
- (5) 採算管理について
自治医科大学教授医学博士 一条 勝夫
- (6) 予算編成時における収入予測のたてかた
聖路加国際病院統計課主任 中村 彰吾
- (7) 病院従業員の福祉年金について
逢沢 脩
- (8) 病院見学（大手前病院）

7. 労務研究会

8.26～27（木～金）
福島市飯坂町
(43名)

- (1) 期待される職場リーダー
福島赤十字病院看護部長 遠藤 きん
- (2) グループ研究
——各職場に発生する実例の解析とその対策——
○採用内定は取消することができるか
○配置転換は病院が一方的に実施できるか
○時間外勤務を拒否されたときはどうするか
○病棟勤務と外来勤務とで賃金は一律でよいか

○その他

- (3) グループ演習 発表
- (4) グループ演習 部下にやる気をおこさせるコツ
- (5) まとめ

8. 看護管理部会研究会

6.29～30（火～水）
新潟市新潟商工会議所
（145名）

- (1) 特別講演・看護・教育における心理的考率
東京教育大学教授 真仁田 昭
- (2) シンポジウム・中間管理者の役割
司会 東京警察病院総婦長 嶋崎佐智子
演者 新潟県立吉田病院長 中畠 健
新潟市民病院総婦長 塩谷 スミ
厚生連中央高等看護学院
教務主任 住吉 慶子
聖路加国際病院総婦長 内田 卿子

- (3) グループ討議・中間管理者の役割
リーダー 九段坂病院総婦長 岩間千代子
慶応義塾大学病院婦長 杉山 晴子

9.16～17（木～金）
大阪市日生谷町ビル
（135名）

- (1) 日本病院会の現状
総合病院南大阪病院長 内藤 景岳
- (2) 特別講演・看護・教育における心理的考察
大阪教育大学教授 高木俊一郎
- (3) シンポジウム・看護業務における中間管理者の役割
北野病院看護部長 石脇 清子
大道病院総婦長 下村 信子
牧病院長 牧 安孝
大阪回生病院事務部長 牟田口英一
聖路加国際病院総婦長 内田 卿子
関東通信病院総婦長 宮原 仮江
- (4) グループ討議・看護業務における中間管理者の役割
コーディネーター 大阪赤十字病院看護部長 桑原富士子
国立大阪病院副総婦長 三浦 菊代

11.15 (月)
横浜市神奈川県医師会館
(102名)

- | | |
|---------------------------|-------|
| 府中病院 総婦長 | 山口 幸恵 |
| 中野こども病院総婦長 | 宮本 末子 |
| 九段坂病院 総婦長 | 岩間千代子 |
| 慶応義塾大学病院婦長 | 杉山 晴子 |
| (1) シンポジウム・職員の教育的配置替えを考える | |
| 聖路加国際病院総婦長 | 内田 卿子 |
| 川崎市立川崎病院総婦長 | 船場 宮子 |
| 横浜赤十字高等看護学院 | 鈴木 文江 |
| 大和市立病院看護科長 | 井上 定得 |
| 神奈川県立看護教育大学
教育部長 | 大谷 昌美 |
| (2) 講演・職場の変化と人間心理 | |
| 東京教育大学教授 | 真仁田 昭 |

9. 薬事管理研究会

9.9～10 (木～金)
奈良市
明治生命奈良支社ホール
(85名)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| (1) 薬価基準銘柄別取載の問題点 | |
| 東大阪病院薬剤部長 | 松永 俊夫 |
| (2) シンポジウム | 東京厚生年金病院 伊藤 誠二 |
| (3) 今後病院における薬剤師の役割 | |
| 日本パプテスト病院長 | 榊田 博 |
| 北野病院 総婦長 | 石脇 清子 |
| 東京警察病院薬剤部長 | 古川 正 |
| (4) 講演・病院経営と薬剤 | |
| (5) 購入と使用効率 | |
| 新宿日赤産院薬剤部長 | 水野 謹爾 |
| (6) 在庫管理 (特に使用の片割返品) | |
| 新千里病院薬剤部長 | 中江喜代蔵 |
| (7) 同上 | 東京厚生年金病院薬剤部長 伊藤 誠二 |
| (8) 使用管理 (品質管理) | |
| 神戸大学医学部付属病院薬剤部長 | 黒田 耕司 |

10. 栄養管理研究会

9.3～4 (金～土)

長崎市医師会館
(76名)

- (1) 病態栄養講座「消化器疾患における食事療法」

長崎医大教授 原 耕平

- (2) 栄養指導料について

野村病院長 野村 秋守

- (3) 食品流通システムについて

日本栄養士会理事長 山本 辰芳

- (4) シンポジウム「給食の問題点」

院長の立場が 福井病院長 福井 順

野村病院長 野村 秋守

看護の立場が 十善会病院看護部長 村田多恵子

調理師の立場が

国立療養所福岡病院調理師 小平 定雄

栄養士の」

都立豊島病院栄養科長 馬場 昂

井上病院栄養士 小浦カノ子

- (5) シンポジウム「病院給食の直営と委託の現況について」

国立長崎療養所長 楠木 繁男

福井病院専務理事 田川 博康

十善会病院栄養部長 城谷珠美子

東海大学病院栄養課長 杉山 隆五

京都市立病院栄養科主任 中野 超

11. 調理研究会

11.12～13 (金～土)

福山市
中国新聞福山文化会館
(63名)

- (1) シンポジウム「技術革新に対応した調理の形態」

(労働過重にならないために)

座長 榊田 博

日本栄養士会々長 山本 辰芳

立教大学社会学部講師 岡田玲一郎

福祉食品流通研究会 長尾 明幸

- (2) 病院調理師の資格について (資格と職場内の問題点)

駿河台日大病院 京須 寿雄

- (3) グループ討議・4班に分ける

- (4) グループ討議・内容発表

- (5) 調味料について (株)安倍商店専務取締役 安倍 和一
- (6) 調理の心 福岡城南病院長 菱山 博文

12. 病歴管理研究会

9.22(水)
 呉市国立呉病院
 (62名)

- (1) 病歴管理の重要性 杏林大学医学部教授 高橋 政祺
- (2) 米国における診療録管理士
 聖路加国際病院診療記録管理室長 栗田 静枝
- (3) 病歴管理実施に対しての問題点
 大阪通信病院副院長 田中 敏行
- (4) 診療録管理士の日常業務
 日本バプテスト病院医事記録室元主任 大町 文子
- (5) 分娩ならびに新生児の病歴管理上の問題点
 大阪通信病院産婦人科部長 竹村 喬
- (6) 国立呉病院における病歴管理の経過と現状
 国立呉病院第二放射線科医長 楠本 五郎

13. 中小病院管理部会

7.10～11(土～日)
 長崎市
 十八銀行別館ホール
 (57名)

- (1) 医療と福祉の接点 堀口整形外科病院長 堀口銀二郎
- (2) 病院における労使間の人間関係
 - Ⓐ 病院労使関係の特殊性
 - Ⓑ 人事管理の仕方
 病院管理研究所経営管理部長 石原 信吾
- (3) 病院と税制及職員の福祉について
 小原病院長 小原知次郎
- (4) 病院における少数精鋭
 高山整形外科病院長 高山 螢
- (5) 銀行から見た病院 十八銀行取締役 西田 正純
- (6) 中小病院の生きる道
 岡山病院長 岡山 義雄

10.22～23(金～土)
 甲府市山梨県医師会館
 (53名)

- (1) 労働条件と給与
 総合高津中央病院事務局長 加藤 賢二
- (2) 就業規則の不備による労使紛争

慶応大学医学部病院管理学教室 細田 健二

(3) 税制及び税務対策 小原 病院長 小原知次郎

(4) 病院における少数精鋭

高山整形外科病院長 高山 螢

1.21~22 (金~土)

名古屋市

東海銀行主税町クラブ
(75名)

(1) 臨床検査室の合理化

京浜総合病院会長 矢作 忠政

京浜予防医学研究所検査部長 浦部 厚美

(2) 病院における少数精鋭

高山整形外科病院長 高山 螢

(3) 病院における外注方式

福岡城南病院長 菱山 博文

(4) 私立病院の経営理念

総合病院南大阪病院長 内藤 景岳

(5) 私の行ってきた病院経営

織本病院長 織本 正慶

(6) 中小病院における看護部門のありかた

生長会府中病院総婦長 山口 幸恵

(7) 中小病院の経営管理

④ 中小病院の経営分析

⑤ 民間病院の給与体形の一例(職務給、職能給の導入)

大口病院事務局長 石田 貞治

(8) 最近のアメリカ医療事情について

小原病院長 小原知次郎

14. 放射線部会

6.25~26 (金~土)

和歌山県薬剤師会館
(60名)

(1) 放射線技師の勤労意欲について

座長：佼成病院放射線科部長 西田 義夫

(2) 自動化機器の導入による経済性の検討について

座長：日本大学医学部教授 榊原 聡彦

(3) [特別講演]

① これからの医療と放射線技師の心構え

堀口整形外科病院長 堀口銀二郎

② 医療被ばくと管理について

和歌山県立医大附属病院長 堀 啓二

③ 脳神経放射線診断に関して

和歌山医大助教授 藤野 保定

④ コンピュータ断層見聞記

聖路加国際病院放射線科医長 野辺地篤郎

15. 臨床検査管理部会

11.5～6 (金～土)

高松市

高松明治生命ホール

(33名)

(1) 検査室の公害問題について

高松赤十字臨床検査課長 山田 哲夫

(2) 中検の実態調査について

① 稼働状況について

順天堂大学附属順天堂医院技師長 藤沢 武吉

② 検査器機、材料、薬品の購入状況について

駿河台日大病院技師長 佐藤 和身

③ 面積、設備状況について

東京白十字病院検査科長 真鍋 真之

④ 技師の教育研究状況について

東海大学病院技師長 河喜多龍祥

⑤ 採血状況について

社保船橋中央病院技師長 後藤 直昭

⑥ 緊急検査と宿日直状況について

社保船橋中央病院技師長 後藤 直昭

⑦ H、B抗原対策について

日大板橋病院助教授 河野 均也

16. ハウスキーピング研究会

9.24～25 (金～土)

秋田市久保田会館

(69名)

(1) 「病院環境管理の内容と進め方」

患者及職員の衣と住に関するサービス

病院管理研究所管理部長 石原 信吾

(2) アメリカの病院ハウスキーピングの実情

慶応大学病院 小田桐信子

(3) 基準病衣の考え方と問題点

順天堂医院 水野 淑子

(4) シンポジウム「病院環境管理の実際」

① 日本の病院におけるハウスキーピング体制の現況

初声荘病院 秋山より子

② 病院ハウスキーピング業務の委託の有利点

雄勝中央病院 小田島健三

③ 病院のリネン管理のポイント

虎の門病院 粕谷 良

④ 病院の清掃管理のポイント

慶応大学病院 小田桐信子

⑤ 院内感染防止の実際の活動

聖路加国際病院 近藤 英二

第6 セミナー

1. 病院長セミナー

- 7.23 東京都 (1) 医療経済
～24 (金～土) 国立横浜大学経済学部助教授 西村 周三
(25名)
- (2) 地域保険計画と病院
厚生省公衆衛生局地域保険課長 大谷 藤郎
- (3) 経営雑感
日立製作所副社長 八木 良夫
- (4) 国民は病院に何を求めるか
医事評論家 水野 肇
- (5) 病院の進むべき道
日本病院会副会長 小野田 敏郎
全員懇親会
- (6) 提案制度
日本経営能率研究所長 児玉 龍介
- (7) 医療紛争
慶応大学法学部講師弁護士 饗庭 忠男
- (8) 時局雑感
元厚生大臣衆議院議員 坊 秀男
- (9) バズセッション
司会 常任理事 左奈田 幸夫
サブリーダー 出席 常任理事

2. 副院長セミナー

- 11.19 東京都 オリエンテーション
～20 (金～土) (34名)
- (1) 医療のレベルとシステム
慶応義塾大学医学部 病院管理学教授 倉田 正一
- (2) 病院づくり医師づくり
日本大学名誉教授 永澤 滋

(3) 副院長論

順天堂大学医学部講師 守屋 博

(4) 診療評価

日本大学医学部 病院管理学助教授 三宅 史郎

(5) 国民の求める病院

NHK科学産業番組班チーフディレクター 行天 良雄

(6) 医療の開発

厚生省医務局医療システム開発室長 佐々木 輝幸

(7) 医療問題の考え方

厚生省保険局医療課長 三浦 大助

(8) 病院の採算管理

病院管理研究所経営管理部長 石原 信吾

(9) ワークショップ

病院における副院長の仕事

リーダー 左奈田 幸夫

3. 事務長セミナー

7.16 東京都
(金)
(46名)

(1) 世界の経済の動向と我が国経済の見通し

立教大学教授 西山 千明

(2) 病院給食の合理化(食品流通システムづくり)

経営コンサルタント 長尾 明幸
財団法人食品産業センター
企画調査室長 岨 常次郎

(3) 中医協問題と労働側から病院管理側に対するアドバイス

中医協委員・総評幹事 安恒 良一

(4) シンポジウム

「減速経済下の病院の経営」

演者 聖路加国際病院 落合 勝一郎

病院管理研究所 石原 信吾

自治医科大学 一条 勝夫

4. 税制セミナー

7.17 東京都
(土)
(46名)

(1) 派遣医師の源泉所得税を中心として(事務長セミナーと合同)

国税庁直税部法人税課々長補佐 伊藤 一行

(2) 病院における税務問題

公認会計士 齊藤 力夫

(3) 医療会計税務の矛盾と問題点

公認会計士 森 久雄

5. 総婦長セミナー

8.27 東京都
～28
(金～土)
(75名)

(1) オリエンテーション

国立埼玉病院長 左奈田 幸夫

(2) がんとその病人

国立がんセンター総婦長 松浦 京

(3) 看護界の動向

(社)日本看護協会長 大森 文子

(4) 職業女性の教育

日本航空(株)乗務指導員・パーサー 森竹 尚江

(5) パネルディスカッション・看護教育と業務の接点

(司会) 俊成病院長 小野田 敏郎

(教育面から)

東京女子医科大学看護短大教授 藤枝 知子
国公共済連立川病院高等看護
学院教務主任 亀井 喜久子

(業務面から)

日本専売公社東京病院総婦長 須谷 照子
東京警察病院総婦長 嶋崎 佐智子

(6) 附添婦と病院

NHK科学産業番組班
チーフ・ディレクター 行天 良雄

(7) グループディスカッション・附添婦問題

リーダー 左奈田 幸夫

サブリーダー 小野田 敏郎

” 松浦 京

東京警察病院総婦長 嶋崎 佐智子

聖路加国際病院総婦長 内田 卿子

九段坂病院総婦長 岩間 千代子

駿河台日大病院婦長	佐藤キク
関東通信病院総婦長	宮原仮江
東京都衛生局研修課副主幹	石井智恵子
慶応義塾大学病院婦長	杉山晴子

6. 栄養セミナー

7. 8 広島市
～9
(木～金)
(131名)

(1) 糖尿病患者における栄養の諸問題

日本バプテスト病院長	榎田博
------------	-----

(2) 病院栄養指導について

東京厚生年金病院栄養部長	松本重子
--------------	------

京都市立病院栄養科主任	中野超
-------------	-----

(3) 多様化の中での治療食の作業現状

駿河台日大病院栄養科長	神田紀子
-------------	------

八尾市立病院栄養係長	仲谷鈴代
------------	------

(4) シンポジウム

「食品材料の調達と流通」

広島県病院協会副会長	土井憲策
------------	------

① 食品流通の実態と新しい流通機構

② 病院から見た流通機構

③ 共同購入について

岡田病院長	岡田泰二
-------	------

木村胃腸科病院長	木村規矩志
----------	-------

県立広島病院食養課長	下石茂彦
------------	------

経営コンサルタント	長尾明幸
-----------	------

(5) 病院給食の帳票管理

芦屋市民病院給食係長	久保昌子
------------	------

7. 放射線セミナー

9.18 裾野市
～20
(土～月)
(38名)

(1) リーダーシップのあり方

佼成病院放射線科部長	西田義夫
------------	------

(2) 患者サービスにつながる放射線科のあり方

日大医学部教授	榎原聡彦
---------	------

(3) 講演

① 病院のみち

倭成病院長 小野田 敏 郎

② 医療の中の記録

聖路加国際病院放射線科医長 野辺地 篤 郎

③ 医療者と患者

東京女子医大看護短期大学教授 藤 枝 知 子

④ 皆保険における病院の経済

病院管理研究所経営管理部長 石 原 信 吾

8. コンピュータゼミ

5.18 東京都
～19
(火～水)
(74名)

(1) 病院情報処理システムの前提条件

北品川総合病院 河 野 稔

(2) 病院情報処理システムの設計

社会保険中京病院 若 井 一 朗

(3) HISリソースの共同利用

鳥海病院 青 山 松 次

山田総合病院 山 田 治

(4) 病院医療情報処理システムの設計

東京医科歯科大学病院 金 岡 嘉 男

(5) 病院医療事務処理システムの運用

北里大学病院 山 川 昇 一

豊洲厚生病院 水 野 精 巳

山田病院 山 田 剛 規

(6) 外来窓口合計と診療報酬請求

杉石病院 近 藤 良 雄

森下胃腸科病院 五 百 蔵 速 雄

(7) 診療スケジュール

虎の門病院 斎 藤 誠

(8) 医療用在庫管理

同友会病院 鬼 山 照 男

(9) 医療用データ処理

東芝中央病院 西 淳

(10) 病院情報処理のガイドブック

鳥海病院 青山 松次

電々公社 岡田 行雄

神奈川県総合リハセンター 青木 禎和

(11) 76モダンホスピタルショウの見学

6.25 和歌山市
～26
(金～土)
(44名)

(1) 病院の近代化にはコンピュータ導入しかない

北品川総合病院長 河野 稔

(2) コンピュータによる病院管理の実際

大阪回生病院企画部長 日西 義之

(3) 外来窓口会計と診療報酬請求事務

関西医科大学病院医事係長 岡崎 新平

(4) コンピュータシステムの説明

パロース(株) 高松 雅美

(株)日立メディコ 長谷川 新

(株)大沢情報センター 森 長治

(5) 病院業務コンピュータ化の現状

関東通信病院電子応用医学研究室長 三宅 浩之

(6) 病院医療におけるコンピュータ利用の諸問題

大阪大学医学部教授 阿部 裕

(7) コンピュータ導入運用をめぐる諸問題の質疑・討論

関東通個病院電子応用医学研究室長 三宅 浩之

(8) パロース(株)・(株)大沢情報センターのシステムの展示見学

8.25 新潟市
～26
(水～木)
(60名)

(1) 病院の経営近代化はコンピュータ導入しかない

北品川総合病院長 河野 稔

(2) 病院医療におけるコンピュータ利用の諸問題

東京慈恵会医科大学教授 吉村 正蔵

- (3) 病院の医療事務処理システムの効率的運営
豊洲厚生病院理事長 水野 精巳
- (4) コンピュータ導入の実際
大阪回生病院企画部長 日西 義之
- (5) 病院業務コンピュータ化の現状
日本病院会コンピュータ委員会の調査から
日本電信電話公社データ通信 岡田 行雄
本部総括部医療担当調査役
- (6) 病院へのコンピュータ導入の実態と方法
「病医院へのコンピュータ導入の早分り」を中心に
岡田 行雄
- (7) 医療情報システムの考え方と予備調査のやり方
神奈川県総合リハビリ 青木 禧和
センター情報管理科長
- (8) 県立病院のコンピュータによる薬剤管理
新潟県病院局総務課 本田 仁
- (9) 中央電子(株)のシステム展示見学
- 9.8 広島市 (1) コンピュータを病院で使うためには
～9 (水～木) 北品川総合病院長 河野 稔
(52名)
- (2) 病院医療情報処理の動向
—日本病院会コンピュータ委員会の実態調査から—
電々公社データ通信本部 岡田 行雄
総括部医療企画調査役
- (3) 病院へのコンピュータ導入の技術論〈その1〉
医師の立場から
東洋工業病院臨床病院 大場 康寛
研究検査科部長
大阪回生病院耳鼻科部長 酒井 俊一
- (4) 〈その2〉病院管理の立場から
倉敷中央病院常務理事 鷹取 保三郎
土谷病院電子計算機室係長 中西 実
慈圭病院事務長 岩崎 良介
- (5) 医療側の立場からみた医療情報処理

土谷病院長 土谷 太郎

大場 康 寛

関東通信病院電子応用医学研究室長 三宅 浩 之

- (6) 展示と説明——米子コンピュータ・システム(株)・丸善(株)・パロース(株)・富士通(株)・東芝メディカル(株)——によるシステムの見学と説明

- (7) 東洋工業(株)附属病院の見学

10.13 名古屋市
～14
(水～木)
(66名)

- (1) コンピュータを病院で使うためには

北品川総合病院長 河野 稔

- (2) 病院医療情報処理の動向

——日本病院会コンピュータ委員会の実態調査から——

電々公社データ通信本部 岡田 行 雄
総括部医療企画調査役

- (3) 医療側の立場からみた医療情報処理

関東通信病院電子応用医事研究室長 三宅 浩 之

- ① 医療側の立場からみた情報処理

名古屋保健衛生大学 岡島 光 治
医学部内科学教授

- ② 窓口会計・健保請求コンピュータ化の実施経験

鳥海病院長 青山 松 次

- ③ 神奈川県地域医療と医療情報処理システムの概況

- (4) 病院へのコンピュータ導入の技術論〈その1〉

医師の立場から

中京病院麻酔科部長 若井 一 朗

端末の増設によるシステムのトータル化

- (5) 同上〈その2〉病院管理の立場から

犬山病院常務理事 吉田 稔

大雄会病院事務長 高垣 真 之

名鉄病院医事課長 小川 保 彦

- (6) 特別講演・食品流通システムにおける情報処理の重要性

京都大学農学部教授 岸根 卓 郎

(7) 丸善(株)端末機器の展示とシステムの説明

(8) 愛知県総合保健センターの見学

11.24 会津若松市
～25
(水～木)
(49名)

(1) コンピュータを病院で使うためには

北品川総合病院長 河野 稔

(2) 医事業務を中心とした導入と運用の実例

公立藤田総合病院長 本宿 尚

豊洲厚生病院理事長 水野 精巳

(3) 導入のねらいと機器構成の考え方

宮城県衛生部保健管理課長 高野 昭

(4) 病院医療情報処理の進め方

——日本病院会コンピュータ委員会の実態調査を中心に——

関東通信病院電子応用医学研究室長 三宅 浩之

(5) 中央電子(株)・沖電気工業(株)・富士通(株)によるシステムの展示
と説明

(6) 医療情報処理・総合会津中央病院の実例

——医事・給食・薬剤管理・経理・CTスキャン——

総合会津中央病院事務長 斎藤 建一

” 薬剤部長 木村 真

” 脳外科部長 郭 水泳

(7) 医療情報処理・関東通信病院の実例

関東通信病院電子応用医学研究室長 三宅 浩之

(8) 栄養管理業務の実例

北品川総合病院栄養課 勝山 礼子

(9) 「総合会津中央病院の医療情報処理の実状見学」

2.23 神戸市
～24
(水～木)
(48名)

(1) 導入講演・コンピュータを病院で使うためには

日本病院会常任理事コンピュータ
委員長・北品川総合病院長 河野 稔

(2) 病院医療情報処理の考え方

——管理者の立場から

春日外科病院長 春日 隣 男

舞子台病院常務理事事務長 土井 義 行

(3) 同上——医療担当者の立場から

関東通信病院電子応用医学研究室長 三宅 浩 之

兵庫医科大学病院中央検査部 三村 幸 一

(4) 同上——病院事務の立場から

三菱神戸病院事務課 西田 義 信

大阪回生病院企画部長 日西 義 之

阪南中央病院電算室長 橋本 則 男

西脇市立西脇病院事務局次長 荒木 忠 雄

神戸海星病院秘書室長 小原 満 男

尾崎病院長 尾崎 信 夫

(5) コンピュータの効率的共同利用

富士通興業(株)SE部 田沢 義 邦

日本メディコム(株) 平田 久 光

(株)日立製作所 西山 考 之

東芝メディカル(株) 外丸 昌 司

バロース(株) 後藤 恭

ドッドウエル 藤本 忠 男

(6) コンピュータシステムリサーチ(株)によるシステムの展示と説明

(7) 病院見学のオリエンテーションと神戸海星病院のシステムの説明

(8) 神戸海星病院の見学

12.15 厚木市
～16 伊勢原市
(水～木)
(35名)

(1) 神奈川県総合リハビリテーションセンターの概要

鳥海病院長 青山 松 次

センター研究部長 土屋 弘 吉

(2) センターEDPSの概要説明

センター研究部副部長 丹羽 信 善

- (3) オンラインによる調整連絡システム
研究部情報管理科主事 山中 静夫
- (4) オンラインによる病棟看護システム
研究部情報管理科主事 山田 繁美
- (5) バッチ処理による薬品在庫システム
研究部情報管理科主事 関戸 正美
- (6) コンピュータ関係説明
研究部情報管理科主事 小川 秋雄
- (7) データバンクシステム紹介
研究部情報管理科主事 小川 れい子
- (8) 東海大学病院のコンピュータ処理業務の概要
東海大学医学部教授 高橋 昇
- (9) 施設見学と質疑・討議
- (10) 配布資料「病医院へのコンピュータ導入の早分り」・「病院
におけるコンピュータ利用の実態」を中心とした説明と討議
関東通信病院電子応用医学研究室長 三宅 浩之
電々公社データ通信本部 総括部医療担当調査役 岡田 行雄

9. 医療紛争防止セミナー

- 10.23 東京都 (1) 講演
～24
(土～日) 明治大学法学部 鈴木 俊光
(42名)
- (2) 講演
最高検察庁検事 白井 滋夫
- (3) 事例研究
- (4) 事例研究の講評と講演
東京都医師会顧問弁護士 高田 利広
- (5) 医療事故と損害保険
安田火災保険 横川 明

医療紛争防止セミナー

- 2.9 大阪市 (1) 講演
～10
(水～木) 福岡城南病院 菱山 博文
(70名)

京都大学法学部 林 良 平

(2) 講 演

大 阪 大 学 松 倉 豊 治

(3) 事例研究

新千里病院 吉 岡 観 八

(4) 講評と講演

兵庫県病院協会顧問弁護士 金 光 邦 三

第7 各種委員会

1. 教育委員会

7. 17(土)	番町共済会館	(1) 5, 6, 7月開催された全国勉強会の反省	12名
10. 9(土)	食糧会館	(1) 8, 9, 10月開催された全国勉強会の反省 (2) 昭和52年度計画について	17名
12. 11(土)	番町共済会館	(1) 昭和52年度全国勉強会計画について	16名
3. 19(土)	霞山ビル	(1) 昭和51年度反省会と懇親会	130名

2. 病院制度委員会

4. 5(月)	番町共済会館	(1) 「近代病院間の連繋からみた救急医療」 (神戸市の救急医療の現状)	13名
5. 10(月)	番町共済会館	(1) 「近代病院間の連繋からみた救急医療」 ① (兵庫地区における救急医療) ② (名古屋地区における救急医療)	13名
6. 7(月)	番町共済会館	(1) 「近代病院間の連繋からみた救急医療」 (福岡県における救急医療)	6名
7. 5(月)	番町共済会館	(1) 「救急医療の概念とそのかわりあい」	12名
8. 10(月)	番町共済会館	(1) 「総括的基本方針について」	12名
9. 6(月)	番町共済会館	(1) 「救急医療の改善方針アンケート案の決定」	11名
10. 4(月)	番町共済会館	(1) 「救急医療の機能別改善方針」 (アンケートのまとめ)	7名
11. 8(月)	東京消防庁4階会議室	(1) 「救急医療についての機能別基本的討議」 (消防庁救急センター見学と関係者との合同討議)	7名
12. 7(月)	番町共済会館	(1) 「一次, 二次, 三次救急医療と病院」	6名
1. 10(月)	番町共済会館	(1) 「救命救急センターについて」	9名
2. 7(月)	番町共済会館	(1) 「救急医療の提供体制について」	10名
3. 7(月)	番町共済会館	(1) 「日本病院会としての二次, 三次救急施設のあり方」	9名

3. 学術委員会

5. 20(木)	新大阪チサンホテル	(1) 学術表彰規程(案)について ① 病院業務の功労者の表彰規程(案) ② 学会発表優秀論文表彰規程(案) ③ 病院(を中心とする)学術研究奨励金贈呈規程(案)	8名
6. 19(土)	番町共済会館	(1) 委員長決定について (2) 学術雑誌発刊について (3) 学術表彰規程(案)について	6名
7. 17(土)	新大阪チサンホテル	(1) 病院功労者の表彰規程について (2) 学術雑誌発行について	7名
8. 18(水)	番町共済会館	(1) 学術雑誌発行について	6名
12. 13(月)	番町共済会館	(1) 学術雑誌(季刊)について (2) その他	5名
2. 14(月)	番町共済会館	(1) 学術雑誌「病院学」4月号(創刊号)について (2) その他	4名
3. 16(水)	番町共済会館	(1) 学術雑誌「病院学」について (2) その他	6名

4. 臨床予防医学委員会

4. 26(月)	番町共済会館	(1) KKロッシュ作成, 人間ドック受診者質問表改正の件 (2) 三鷹中央病院認定の件 (3) 浜松赤十字病院妊婦ドック料金について (4) 仙台市立病院より, 1泊せずに2日間通院では不可か (5) 次回委員会は仙台市で開催する	10名
8. 18(水)	仙台市斉藤報恩会館	(1) KKロッシュ作成の質問表を改訂する件 (2) 浜松日赤, 妊婦ドック料金値上要求について	12名

- (3) 自動化健診料金改訂でアンケート発信
- (4) 次回(18回)人間ドック学会開催について
8月東京都, 三井記念病院を評議員会
にかける

12. 6(月) 番町共済会館 (1) 昭和52年度短期人間ドック料金改訂の 12名
件

12. 16(木) 健保連会館 (1) 其後再度小野田副会長と健保連交渉を 4名
へて¥48,100 と決定

5. 通信教育委員会

9. 22(水) 国立呉病院 (1) 第5, 7期生試験結果について 5名
(2) 第7回認定証授与式について
(3) 冬期集中スクーリングについて
(4) 来年度病歴管理研究会開催地の検討に
ついて

6. コンピュータ委員会

4. 13(火) 番町共済会館 (1) 新年度事業計画 8名
(2) 病院におけるコンピュータ利用の実態
調査
(3) コンピュータゼミの計画と運営
(4) 国際モダンホスピタルショウ
(5) 長期療養患者の分類法
(6) その他

5. 11(火) 番町共済会館 (1) コンピュータゼミの計画と実施 17名
(2) そのテキスト・資料
(3) 病院におけるコンピュータ利用の実態
調査
(4) その他

6. 22(火) 番町共済会館 (1) コンピュータゼミの日程 13名
(2) 病院におけるコンピュータ利用の実態
調査

		(3) レセプトカナ表記の要望書	
		(4) 導入病院懇話会	
		(5) その他	
7. 27(火)	番町共済会館	(1) コンピュータゼミの計画と実施	14名
		(2) レセプトカナ表記の要望書	
		(3) その他	
9. 21(火)	番町共済会館	(1) コンピュータゼミの反省	15名
		(2) 今後の活動方針	
		(3) その他	
10. 19(火)	番町共済会館	(1) ICDAの製作	14名
		(2) 利用状況実態調査で導入予定と回答した病院名	
		(3) コンピュータゼミの計画と実施	
		(4) コンピュータゼミ52年度の日程	
		(5) その他	
11. 30(火)	番町共済会館	(1) コンピュータゼミの計画と実施	16名
		(2) コンピュータ導入の早分り・実務篇と国際疾病分類の製作	
		(3) その他	
1. 18(火)	番町共済会館	(1) コンピュータゼミの計画と実施	13名
		(2) コンピュータ導入ハンドブック	
		(3) その他	
3. 1(火)	番町共済会館	(1) コンピュータ導入ハンドブック	17名
		(2) コンピュータゼミの計画と実施	
		(3) コンピュータゼミの51年度の実施結果	
		(4) コンピュータゼミの52年度の日程と計画	
		(5) その他	

7. 編集委員会

4. 14(水)	番 町 共 済 会 館	(1) 5月号の編集について	7名
4. 30(金)	番 町 共 済 会 館	(1) 6月号の編集について	7名
		(2) 7月号の内容について	
6. 22(火)	番 町 共 済 会 館	(1) 7月号の編集について	10名
7. 20(火)	番 町 共 済 会 館	(1) 8月号の編集について	8名
		(2) 9月号の企画について	
		(3) その他「肝臓病」増刷の件	
8. 17(火)	番 町 共 済 会 館	(1) 9月号の編集について	10名
		(2) 10月号の企画について	
9. 14(火)	番 町 共 済 会 館	(1) 10月号の編集について	9名
		(2) 11月号の企画について	
10. 12(火)	番 町 共 済 会 館	(1) 11月号の編集について	9名
		(2) 12月号の企画について	
11. 9(火)	番 町 共 済 会 館	(1) 12月号の編集について	11名
		(2) 1月号の企画について	
11. 30(火)	番 町 共 済 会 館	(1) 1月号の編集について	8名
		(2) 2月号の企画について	
12. 21(火)	神 田 ・ 華 福	(1) 2月号の編集について	10名
		(2) 3月号の企画について	
1. 25(火)	番 町 共 済 会 館	(1) 3月号の編集について	7名
		(2) 4月号の企画について	
2. 22(火)	成 田 赤 十 字 病 院	(1) 4月号の編集について	9名
		(2) 5月号の企画について	
3. 22(火)	番 町 共 済 会 館	(1) 5月号の編集について	10名
		(2) 6月号の企画について	

8. 海外医療研究委員会

5. 31(月)	番 町 共 済 会 館	(1) ヨーロッパ病院視察団オリエンテーション	10名
6. 12(土)	羽 田 空 港	(1) ヨーロッパ病院視察団結団式	14名

6. 23(水)	羽 田 空 港	(1)	ヨーロッパ病院視察団解団式	14 名
10. 4(月)	羽 田 空 港	(1)	韓国病院視察団結団式	5 名
10. 8(金)	羽 田 空 港	(1)	韓国病院視察団解団式	5 名
11. 9(火)	羽 田 空 港	(1)	メキシコ・南米病院視察団結団式	5 名
11. 28(日)	羽 田 空 港	(1)	メキシコ・南米病院視察団解団式	5 名
12. 20(月)	番 町 共 済 会 館	(1)	ハワイ病院視察団オリエンテーション	8 名
12. 28(火)	羽 田 空 港	(1)	ハワイ病院視察団結団式	15 名
1. 2(日)	羽 田 空 港	(1)	ハワイ病院視察団解団式	15 名
2. 4(金)	羽 田 空 港	(1)	中華民国病院視察団結団式	25 名
2. 9(水)	羽 田 空 港	(1)	中華民国病院視察団解団式	25 名
3. 2(水)	番 町 共 済 会 館	(1)	52年度計画コースについて	5 名

9. 企画委員会

4. 17(土)	番 町 共 済 会 館	(1)	医療秘書，病院調理士等の教育について	6 名
4. 30(金)	番 町 共 済 会 館	(1)	編集，広報の運営について	7 名
		(2)	通信教育の運営について	
6. 14(月)	大 阪 事 務 所	(1)	出版部について	5 名
7. 5(月)	番 町 共 済 会 館	(1)	医療対策委員会のもち方について	6 名
		(2)	会館建設について	
8. 21(土)	番 町 共 済 会 館	(1)	病院大会について	4 名
11. 16(火)	大 阪 事 務 所	(1)	51年度の回顧	5 名
		(2)	52年度の事業計画について	
2. 26(土)	和歌山県民文化会館	(1)	役員選挙について	5 名
3. 5(土)	番 町 共 済 会 館	(1)	役員選挙について	6 名
3. 18(金)	番 町 共 済 会 館	(1)	役員選挙について	8 名

10. 広報委員会

4. 17(土)	番 町 共 済 会 館	(1)	今年度の活動方針について	8 名
		(2)	今後の編集方針について	
5. 31(月)	番 町 共 済 会 館	(1)	今後の広報活動について	7 名
		(2)	今後の編集方針について	

7. 6(火)	番 町 共 済 会 館	(1) 今後の編集方針について	6 名
10. 5(火)	番 町 共 済 会 館	(1) 今後の編集方針について	5 名
		(2) 病院大会の広報資料について	
12. 18(土)	番 町 共 済 会 館	(1) 今後の編集方針について	6 名
		(2) 今後の広報活動について	

11. 組織委員会

4. 10(土)	全 国 町 村 会 館	(1) 51年度の組織強化について	4 名
----------	-------------	-------------------	-----

12. 医療費問題委員会

4. 19(月)	番 町 共 済 会 館	(1) 委員会の開催日について	5 名
		(2) 追加委員の選定について	
		(3) 病院経営の実態調査施行の可否	
5. 17(月)	番 町 共 済 会 館	(1) 室料差額と付添料の検討	6 名
7. 6(火)	番 町 共 済 会 館	(1) 病院経営実態調査の件	5 名
		(2) 追加委員の件	
9. 7(火)	番 町 共 済 会 館	(1) 室料値上げ問題	6 名
		但し（病院大会のスローガンとして）	
9. 25(土)	事 務 局	(1) 入院料改定要求に関する件	2 名
10. 5(火)	番 町 共 済 会 館	(1) 入院料の適正引上げについて	7 名
		(2) 技術料の適正評価について	
		（以上2件は病院大会のスローガン）	

13. 税制委員会

10. 5(火)	番 町 共 済 会 館	(1) 病院税制の抜本的改正について	6 名
		① 非常勤医師の源泉徴収税について	
		② 耐用年数の短縮について	
		③ 医療器械の特別償却について	

14. 看護制度委員会

7. 17(土)	番 町 共 済 会 館	(1) 看護業務担任状況調査の集計処理要領 について	4 名
9. 18(土)	京 都 ス テ ー シ ョ ン ホ テ ル	(1) 看護業務担任状況調査取扱いについて	8 名

- | | | | |
|-----------|--------|--|----|
| 11. 20(土) | 番町共済会館 | (1) 看護業務担任状況調査の結果について
(2) 昭和52年度の事業計画について | 4名 |
| 3. 19(土) | 番町共済会館 | (1) 看護業務担任状況調査の結果について
(2) 新年度事業計画について | 6名 |

15. 労務委員会

- | | | | |
|-----------|--------|------------------------------|----|
| 5. 27(木) | 番町共済会館 | (1) 医療従事者の稼働性とその実数の正確な調査について | 7名 |
| 8. 19(木) | 番町共済会館 | (1) 潜在看護婦の現況と実態把握の問題点 | 7名 |
| 10. 28(木) | 番町共済会館 | (1) 潜在看護婦の現況と実態把握の問題点 | 7名 |

16. 病院会館建設委員会

- | | | | |
|-----------|---------------------|--|----|
| 6. 1(火) | 番町共済会館 | (1) 病院会館建設用地について(現地下見)
(2) 病院会館建設資金の調達運用について | 6名 |
| 6. 19(土) | 番町共済会館 | (1) 会館建設用地について(現地下見) | 7名 |
| 7. 6(火) | 番町共済会館 | (1) 会館建設用地についての討議 | 6名 |
| 7. 23(金) | 東京ヒルトンホテル
(日光の間) | (1) 会館建設についての全体討議

(現地下見一六本木) | 8名 |
| 8. 28(土) | 番町共済会館 | (1) 会館建設についての全体討議 | 6名 |
| 10. 16(土) | 全国市町村会館 | (1) 財団法人設立に関する具体的検討
(2) 会館の実際的な規模, 内容 | 3名 |
| 11. 2(火) | 番町共済会館 | (1) 財団法人設立準備委員会の役員及び委員人選について
(2) 基金募集方法について検討 | 7名 |
| 11. 20(土) | 番町共済会館 | (1) 会館建設候補用地の具体的検討及び建物についての検討 | 4名 |
| 3. 5(土) | 東京トラック事業健康会館 | (1) 土地についてのその後の経過報告及び資金調達について | 4名 |

17. 医療事故対策委員会

- | | | | |
|---------|--------|--|----|
| 8. 5(木) | 番町共済会館 | 委員会初顔合わせ

(1) 今後全国をブロックに分けてセミナーを開催する | 6名 |
|---------|--------|--|----|

		(2) 第1回委員会を8月25日安田火災社を借用し、第1回セミナー開催の具体案を作る	
8. 25(木)	安田火災社	第1回委員会	6名
		(1) セミナー開催について 第1回東京とする、日時10月23日(土)・24日(日)とする 会場、講師依頼事務局担当	
9. 17(金)	番町共済会館	(1) 第1回セミナー実施内容、案内状原案作成、20日頃発信	7名
12. 7(火)	番町共済会館	第2回セミナー開催の件	4名

18. 年金検討委員会

2. 25(金)	神戸市・神戸国際ホテル	(1) 今後の年金制度委員会について	16名
----------	-------------	--------------------	-----

19. ホスピタルショウ委員会

7. 13(火)	(社)日本経営協会	(1) 国内外のホスピタルショウキャンペーンについて (2) ポスター公募について	11名
9. 14(火)	松本楼	(1) '77国際モダンホスピタルショウ開催について	23名
10. 20(水)	私学会館	(1) テーマについて	10名
11. 11(木)	私学会館	(1) テーマについて	11名
1. 27(木)	霞ヶ関・東海倶楽部	(1) 付帯事業(案)について	12名
2. 17(木)	私学会館	(1) 付帯事業の具体的実施について	11名
2. 27(日)	私学会館	(1) '77国際モダンホスピタルショウ現状報告 (2) 広報活動について	11名
3. 10(木)	私学会館	(1) 付帯事業について	13名

第8 内科臨床協議会 (Joint Conference)

4. 20(火)	東京通信病院	(1) 性器出血と血痰片麻痺に至った症例	40名
4. 23(金)	国立大蔵病院	(1) 腰痛を主訴とする1症例 (2) 歯肉, 食堂, 十二指腸, 大腸に潰瘍を認めた1症例	18名
5. 21(金)	自衛隊病院	(1) C. Cギャラバンバレーの疑 (2) C. P. C垂急性心膜炎	20名
5. 21(金)	福生病院	(1) マルファン症候群の一例 (2) 腹部レントゲン写真にて陰影を認めた症例	12名
6. 22(火)	関東通信病院	(1) 糖尿病性ケトアシドーシスの1例 (2) 血痰を主訴とした胸部正中陰影を認めた1症例	33名
6. 24(木)	校成病院	(1) 特殊な感染を有した多発性リンパ腺腫	20名
7. 14(水)	中野総合病院	(1) 抗DNA抗体陽性甲状腺腫と低 $r-gl$ 血症を伴った重症筋無力症 — 治療を中心として —	17名
7. 21(水)	国立療養所村山病院	(1) アルドスチロン血症の1症例	21名
7. 22(木)	厚生中央病院	(1) 精神神経症を伴ったSLEの症例 (2) 縦隔腫瘍か食道腫瘍か?	28名
9. 16(木)	国立埼玉病院	(1) 食道癌の1剖検例	9名
9. 29(水)	青梅市立病院	(1) 原因不明の発熱の1例 (2) 経過中に著名な血清蛋白及びカリウム値の低下を示した肋膜炎の一例	13名
10. 28(木)	永寿総合病院	(1) 40才の女性で関節痛, 筋肉痛, 筋萎縮 全身皮膚の肥厚及び色素沈着等を主徴とし呼吸困難で死亡した1倍検例	24名
10. 29(金)	都立墨東病院	(1) 心房停止を伴った筋萎縮症の1例 (2) チオフェニコール服用後に発症した肝炎再生不良性貧血の1例	17名

11. 4(木)	関東中央病院	(1) 妊娠末期の急性肝不全の1例 (2) 再生不良性貧血を疑われた血尿 paraplegia を伴った1例	24名
11. 18(木)	日赤医療センター	(1) 急性経過をとった肺炎の1剖検例 (2) Bartter 症候群の1例	38名
12. 8(水)	国立病院医療センター	(1) うっ滞性黄疸の2例	20名
1. 12(水)	国立がんセンター病院	(1) 肺に異常陰影を認めた低ナトリウム血症をきたした1例 (2) 間質性肺炎の1例 (3) 長期間高熱を持続して経過中右下肢の運動及び知覚障害をきたした1例	54名
2. 10(木)	武蔵野赤十字病院	(1) 末梢神経麻痺と心筋障害を呈した症例 (2) 入院経過中系統的リンパ節腫張を呈した興味ある症例	13名

第9 診療録管理通信教育部

<東京地区>

4. 10(出)	都立豊島病院	病歴室見学他	42名
4. 17(出)	東京トラック健保会館	統計学 その1	
4. 24(出)	東医健保会館	病歴士に必要な内科学 その1	
5. 8(出)	東医健保会館	統計学 その2	
5. 15(出)	食糧会館	病歴士に必要な内科学 その3	22名
6. 12(出)	食糧会館	病歴士に必要な外科学 その1	24名
6. 19(出)	東医健保会館	統計学 その3	16名
7. 3(出)	東京厚生年金病院	病歴室見学他	50名
7. 10(出)	聖路加国際病院	医学用語学 その1	46名
7. 17(出)	聖路加国際病院	医学用語学 その2	42名
7. 24(出)	東医健保会館	病歴士に必要な外科学 その2	25名
9. 25(出)	東医健保会館	病歴士に必要な外科学 その3	18名
10. 9(出)	北里大学病院	病歴室見学他	44名
10. 23(出)	東医健保会館	病歴士に必要な婦人科学 その1	15名
11. 13(出)	東医健保会館	情報管理 その2	21名
11. 20(出)	東医健保会館	病歴士に必要な婦人科学 その2	15名
12. 11(出)	東医健保会館	情報管理 その2	17名
12. 25(出)	東医健保会館	病歴士に必要な病院管理学 その1	15名
1. 8(出)	聖路加国際病院	診療記録管理室見学他	39名
1. 22(出)	東京女子医大病院	情報管理その3, コンピュータ見学	21名
1. 29(出)	東医健保会館	病歴士に必要な病院管理学 その3	18名

<近畿地区>

4. 10(出)	国立京都病院	病理学 その1	23名
5. 8(出)	国立京都病院	病理学 その2	14名
5. 15(出)	住友病院	医学用語	44名
6. 12(出)	国立京都病院	病理学 その3	17名
7. 10(出)	大阪通信病院	産婦人科学	23名
8. 4(出)	近畿大学医学部 附属病院	第28回近畿病歴セミナー	80名

10. 9(土)	阪急百貨店教育課	病理学 その1	29名
11. 13(土)	阪急百貨店教育課	病理学 その2	27名
11. 17(土)	大阪府立羽曳野病院	第29回近畿病歴セミナー	27名
12. 11(土)	阪急百貨店教育課	病理学 その3	19名
1. 22(土)	住友病院	臨床検査の常識	39名
3. 12(土)	住友病院	医学用語学	47名
3. 19(土)	住友病院	コンピュータの基礎	35名
3. 25(土)	京都私学会館	第30回近畿病歴セミナー	65名

<名古屋地区>

4. 24(土)	名大病院共済団会議室	外科学 その2	24名
5. 22(土)	名大病院共済団会議室	産婦人科学 その1	19名
7. 3(土)	名大病院共済団会議室	統計学 その1	18名
7. 17(土)	名大病院共済団会議室	解剖学 その1	17名
8. 14(土)	名大病院共済団会議室	解剖学 その2・産婦人科 その2	19名
9. 18(土)	名大病院共済団会議室	小児科学 その1・統計学 その2	25名
10. 16(土)	名大病院共済団会議室	小児科学 その2・分類法(実習) その1	22名
11. 20(土)	名大病院共済団会議室	生理学 その1・分類法(実習) その2	24名
12. 18(土)	名大病院共済団会議室	生理学 その2・分類法(実習) その3	16名
1. 22(土)	名大病院共済団会議室	内科学(循環器)目録法	22名
3. 12(土)	名大病院共済団会議室	内科学(呼吸器)医学用語学	13名

<仙台地区>

4. 24(土)	東北医大附属病院	検査とカルテ その2	16名
5. 29(土)	東北医大附属病院	検査とカルテ その3	15名
6. 26(土)	東北医大附属病院	検査とカルテ その4	12名
7. 17(土)	竹田総合病院	1泊病歴室見学 診療録管理学運営について	17名
9. 25(土)	東北医大附属病院	看護記録の意義と記載について	15名
10. 23(土)	東北医大附属病院	第7回国際診療管理学会参加報告	17名
11. 20(土)	東北大学医学部 第二講義室	国際疾病分類によるコーディング演習	51名
12. 11(土)	東北医大附属病院	米国およびカナダの診療録管理について	12名

1. 22(土) 東北医大附属病院 情報管理 13名
 3. 19(土) 東北医大附属病院 情報管理 12名

◎集中スクーリング

	第8・9期生			第5期生 第7期生	第6・7期生					
	基	礎	科	目	試	験	専	門	科	目
51. 8月	19	20	21	22	23	24	25			
	木	金	土	(日)	月	火	水			
会場	東京(校成高等看護学院)				8/19~8/25		312名			
	大阪(日生病院高等看護学院)				8/19~8/21		80名			
	大阪(日本生命谷町ビル)				8/23~8/25		122名			
	大阪(大阪通信病院)				8/22		試験			
	福岡(福岡大学医学部)				8/19~8/25		82名			
	名古屋(名古屋大学医学部)				8/22		試験			

	第9・10期生			第6期生 第8期生	第7・8期生					
	基	礎	科	目	試	験	専	門	科	目
51. 2月	17	18	19	20	21	22	23			
	木	金	土	(日)	月	火	水			
会場	東京(早稲田速記学校)				2/17~2/23		246名			
	大阪(日本生命谷町ビル)				2/17~2/23		178名			
	大阪(大阪通信病院)				2/20		試験			
	福岡(福岡大学医学部)				2/17~2/23		101名			
	名古屋(名古屋大学医学部)				2/20		試験			

第4回認定証授与式

4月3日(土) 卒業生24名

番町共済会館

第5回認定証授与式

10月30日(土) 卒業生31名

番町共済会館

特別講演

「米国における診療録管理」

フローレンス・トリファス女史

10月19日(火) 東京・富士フィルム本社大ホール

10月23日(土) 大阪・日本生命本社大講堂

第10 メディカルクラーク通信教育

<東京地区>

12.25(出)	東医健保会館	病院管理学(その1)	13名
1.29(出)	東医健保会館	病院管理学(完)	14名
3.19(出)	東医健保会館	医療事務(その1)	12名

<大阪地区>

3.12(出)	住友病院	医療用語学(完)	42名
---------	------	----------	-----

◎集中(前期)スクリーング

第1期生

大阪地区			東京地区		
------	--	--	------	--	--

51.10月	9	10	11	12	13	14
	土	日	月	火	水	木

会場	大阪(近畿大学医学部)	10/9~11	74名
	東京(公立学校共済組合本部)	10/12~14	88名

第11 病院監督者研修会

6. 13 ~ 湯河原厚生年金会館 (1) 特別講演 16名
18日
(日~金) 「組織について」

聖路加国際病院

常務理事 落合勝一郎

(2) 組織と監督者

佼成病院

人事課長 岡野 博

(3) 仕事の管理

日本大学板橋病院

庶務課長 田中栄一

(4) 仕事の改善

佼成病院

電算課長 三浦秀夫

(5) 部下の研修

武蔵野赤十字病院

調度課長 緒方広市

(6) リーダーシップ

聖路加国際病院

庶務課長 内藤 均

(7) 特別講演

「リーダーシップ改善の手がかり」

日本人事管理協会

講師 酒井 暢

10. 7 ~ 東京都 (1) 職場リーダーのポジションと役割 11名
9日 公立学校共済組合
(木~土) 本部

佼成病院

人事課長 岡野 博

(2) 職場運営のポイント

佼成病院

電算課長 三浦秀夫

2. 21 ~
23 日
(月~水)

- (3) 要求される創意工夫

武蔵野赤十字病院

調度課長 緒方 広市

- (4) 職場研修のねらい

聖路加国際病院

庶務課長 内藤 均

- (5)、リーダーシップの相互理解

日大板橋病院

庶務課長 田中 栄一

- (1) 職場リーダーのポジションと役割

10名

- (2) 職場運営のポイント

佼成病院

電算課長 三浦 秀夫

- (3) 要求される創意工夫

- (4) 職場研修のねらい

武蔵野赤十字病院

調度課長 緒方 広市

- (5) リーダーシップの相互理解

日大板橋病院

庶務課長 田中 栄一

第12 病院管理視察研究会

- | | | | |
|--------------------------|------|--|-----|
| 1. 愛知県病院視察研究会 | | | 29名 |
| 6. 11 ~ 12
(金~土) | 名古屋市 | 岡山病院、野垣病院
上飯田第一病院、名古屋第二赤十字病院
愛知県がんセンター | |
| 2. 鳥取県、島根県病院視察研究会 | | | 30名 |
| 10. 27 ~ 30
(水~土) | 鳥取市 | 鳥取県立中央病院 | |
| | 倉吉市 | 野島病院 | |
| | 米子市 | 博愛病院 | |
| | 松江市 | 松江赤十字病院、松江市立病院 | |
| | 出雲市 | 島根県立中央病院 | |

第13 海外病院視察研究会

- | | | | |
|--------------------------|--------------------|--|-----|
| 1. ヨーロッパ視察研究団 | | | 11名 |
| 6. 12 ~ 23 | 西ドイツ、イギリス、フランス、スイス | | |
| 2. 韓国病院視察研究団 | | | 7名 |
| 10. 4 ~ 8 | ソウル | | |
| 3. メキシコ、南米病院視察研究団 | | | 5名 |
| 11. 9 ~ 28 | ブラジル、ベネズエラ、メキシコ | | |
| 4. ハワイ病院視察研究団 | | | 15名 |
| 12. 28 ~ 1. 2 | ハワイ、ホノルル | | |
| 5. 中華民国病院視察研究団 | | | 24名 |
| 2. 4 ~ 9 | 台北、台中、花蓮 | | |

第14 日本病院学会 '76国際モダンホスピタルショー

1. 第2回日本病院会学会

5. 21 ~ 23 倉敷市 川崎医科大学病院 2,500名
(金~土)

2. '76国際モダンホスピタルショー

5. 19 ~ 23 テーマ 優れた医療で、明日の福祉を
(水~日) 会場 東京晴海・東京国際貿易センター新館

出品社数 120社

出品展数 約3,000点

展示面積 約2,000平方米

展示部門 事務管理部門、医療情報システム部門、施設設備部門、
検査・分析部門、医療機械部門、医療材料部門、看護
部門、給食部門、リハビリテーション部門、ハウスキ
ーピング部門、インテリア照明部門、建築部門、その
他

入場者実績

第1日	5月19日(水)	10,600名
第2日	5月20日(木)	22,400名
第3日	5月21日(金)	34,100名
第4日	5月22日(土)	37,400名
第5日	5月23日(日)	12,600名
合計		117,100名

- 附 帯 事 業
- (1) 社会福祉法人「太陽の家」パネル展
 - (2) 医療情報システム展
 - (3) 身体不自由者のためのモデルルームと福祉用品展
 - (4) 看護婦研修用模型人形展
 - (5) モデル病室展
 - (6) 血圧計、ペースメーカーコーナー
 - (7) 病院建築パネル展
 - (8) 医療関係図書コーナー
 - (9) 献血コーナー

第15 第20回国際病院学会委員会

- | | | | |
|-----------|---------|--|-----|
| 5. 11(火) | ニューオータニ | (1) メイトランド女史との会合議事録
(2) I・H・F本部よりの来信について
(3) 特別会員費申込状況について
(4) 財務募金委員会報告
(5) 見学病院リストについて
(6) ニューオータニ会場図について | 12名 |
| 5. 21(金) | 川崎医科大学 | (1) 会場使用料比較について | 9名 |
| 6. 19(土) | 番町共済会館 | (1) 会場変更に関する報告
(2) 募金関係報告
(3) 各委員会準備状況について
(4) 募金活動の方針について
(5) 社交行事の主権について | 19名 |
| 7. 22(火) | ニューオータニ | (1) 募金関係報告
(2) 各委員会報告
(3) 後援依頼について
(4) カセットテープに関する手続
(5) I・H・Fよりの来信について | 20名 |
| 9. 4(土) | 番町共済会館 | (1) 日本主催の分科会について
(2) 後援及宮様臨席について
(3) I・H・Fとの通信事項について
(4) 募金関係について
(5) 日本の医療サービスの出版について | 17名 |
| 10. 26(火) | ニューオータニ | (1) 募金状況の報告
(2) 各委員会の準備状況報告
(3) 事務局の報告
(4) 日本主催の分科会について
(5) I・H・Fサーキュラーについて
(6) 日本人の参加費について | 15名 |
| 11. 9(火) | 番町共済会館 | (1) 募金推進について | 18名 |

		(2) 日本人の会議参加費について	
		(3) 日本主催の分科会について	
		(4) 展示会について	
12. 17(金)	プレスクラブ	(1) 特別会員費寄付申込状況について	17名
		(2) I・H・F準備状況プログラムについて	
		(3) 準備進行計画案について	
1. 28(金)	プレスクラブ	(1) 募金状況について	19名
		(2) 募金推進について	
		(3) 各県特別会員費達成目標額表について	
		(4) 式典レセプション案について	
		(5) 日本人参加者募集について	
2. 18(金)	プレスクラブ	(1) I・H・Fプログラム最終案の検討	16名
		(2) 宮様をやめること、東京都知事へ挨拶 をお願いする件について	
		(3) 国立劇場 10.30 開場とする件について	
		(4) 展示会へのバスの件について	
3. 4(金)	番町共済会館	(1) 日本人参加者の申込について	19名
		(2) ガイドブックについて	
		(3) 建築パンフレットについて	
		(4) 修正予算案について	
3. 25(金)	番町共済会館	(1) 今後の募金推進について	17名
		(2) 修正予算案の検討について	
		(3) I・H・F本部におけるミーティング報告 を検討	

1. 懇談会

7. 22(火)	ニューオータニ	全国より各都道府県を代表して委員が出席	35名
		(1) 開催趣意、募金要項説明	
		(2) 経団連その他への依頼中の説明	
		(3) 質疑応答	

2. 団体懇話会

8. 21(土) ニューオータニ 各団体に対し協力と募金について要請 17名

3. 財務募金委員会

4. 3(土) 番町共済会館

8. 28(土) 番町共済会館

10. 26(火) ニューオータニ (1) 募金の推進について 10名

(2) 地域ごとの推進について

(3) 各団体ごとの推進について

(4) 一般への推進について

1. 13(木) 番町共済会館 (1) 募金の推進について 12名

(2) 特別会員費各県別の推進について

(3) 業者寄付について

4. レディスプログラム委員

8. 2(月) ニューオータニ (1) ツァーコースについて 14名

(2) レディスセンターについての日次と
内容・方法について

11. 12(金) ニューオータニ (1) レディスツァー予算案について 13名

(2) レディスツァーについて

(3) 製作物について

(4) レディスプログラム委員会開催につ
いて

1. 29(土) ニューオータニ (1) レディスセンターシャトルバスについて 14名

いて

(2) レディス用バック印刷について

(3) 責任者分担について

5. 会場運営委員会

6. 14(月) 国立劇場前あぜくら (1) 開会式会場下見 8名

(2) 開会式当日のスケジュールについて

(3) 観劇会について

6. 交通、旅行、宿泊委員会

- | | | | |
|---------|-------|----------------------------------|----|
| 7. 6(火) | 日本病院会 | (1) ポストコンgresツアーにおける病院
見学について | 5名 |
| | | (2) 京都観光の下見について | |

7. 式典レセプション委員会

- | | | | |
|----------|---------|---------------|-----|
| 1. 19(水) | ニューオータニ | (1) 具体案の検討 | 10名 |
| | | (2) 今後の作業について | |
| | | (3) 担当の割振について | |

8. 病院見学委員会

- | | | | |
|----------|------------|-----------------------|-----|
| 5. 10(月) | ホテルニューオータニ | (1) 委員会の趣旨説明 | 19名 |
| | | (2) 各病院代表者の自己紹介 | |
| | | (3) 病院見学に対する概略説明 | |
| | | (4) 各病院受入れ可能人数説明者について | |
| 9. 8(水) | ニューオータニ | (1) 委員会側よりコメント | 21名 |
| | | (2) 各病院の問題点の質疑 | |
| 3. 24(木) | ニューオータニ | (1) 12病院への訪問打合せ | 20名 |
| | | (2) 建築パンフレット | |

第16 第17回人間ドック学会

8. 20 ~ 21
(金~土) 仙台市 齊藤報恩会会館 (1) 特別講演「膀胱癌診断の現況」 350 名
東北大学講師 建部高明
- (2) 特別講演「老化と整形外科的疾患」
東北大学教授 若松英吉
- (3) 特別講演「腎疾患最近の考え方」
東北大学講師 古山 隆
- (4) シンポジウム
司会／三井記念病院 清瀬 潤
- (5) 一般演題 (36題)

第17 病院医療危機突破大会

10.15(金) サンケイ会館 国際ホール

参加者 1,000名

大会スローガン

病院医療費の適正化をはかれ

————— ^{いのち}国民の生命を守るために —————

- (1) 入院料を適正に引き上げよ……差額料金をとる必要のない入院料
- (2) 技術料を適正に評価せよ
- (3) 病院税制を抜本的に改正せよ

大会次第

- (1) 開 会 宣 言
- (2) 議 長 団 選 出
菅 原 虎 彦 (東 京) 六 車 清 茂 (岡 山)
野 瀬 善 三 郎 (兵 庫) 杉 岡 直 登 (福 岡)
浜 光 治 (和歌山)
- (3) 会 長 挨 拶
- (4) 協 賛 団 体 紹 介
- (5) 来 賓 祝 辞
- (6) 祝 電 披 露
- (7) 議 事
 (1) 入院料の引き上げに関する件 (福 井 順)
 (2) 技術料の適正評価に関する件 (遠 山 豪)
 (3) 病院税制の抜本的改正に関する件 (小 原 知 次 郎)
- (8) 各 地 代 表 意 見
 東 京 (河 野 稔) 近 畿 (平 野 明)
 関 東 甲 信 越 (島 津 寿 秀) 東 海 北 陸 (岡 山 義 雄)
 中 国 四 国 (藤 原 拓 士)
- (9) 大 会 宣 言 決 議
- (10) 陳 情 団 編 成
 厚 生 省 大 蔵 省 日 本 医 師 会
 中 医 協 国 会
- (11) 閉 会 挨 拶

第18 図書出版部

保 険 叢 書

肝臓病（増刷）	2,000部
病院職員ハンドブック（増刷）	2,000部
母親学級テキスト（増刷）	3,000部
長期療養患者の分類法（新刊）	1,200部
病院へのコンピュータ導入の早わかり （新刊）	2,200部

昭和 51 年度勉強会委員名簿

1. 病院診療部会

堀内 光	東京都済生会中央病院
柴田 義一	東芝林間病院
北原 哲夫	東京通信病院
伊藤 保彦	東京厚生年金病院
嶋田 和正	都立大塚病院
浜田 博之	関東通信病院
篠塚 輝治	共済清瀬病院
山本 修	都立大塚高等看護学院

2. 事務管理部会

上林 三郎	聖路加国際病院
東 義晴	武蔵野赤十字病院
黒田 幸男	東京都済生会中央病院
平野 栄次	駿河台日大病院
滝沢 喜七	小千谷総合病院
土橋 明次	柏戸病院
庭野 菊藏	佼成病院
落合 勝一郎	聖路加国際病院
石原 信吾	病院管理研究所
井上 昌彦	川崎医科大学附属病院

3. 医事研究会

研究会顧問

落合 勝一郎	聖路加国際病院
安藤 秀雄	社保蒲田総合病院
山崎 信夫	虎の門病院
伊沢 正雄	日本通運東京病院
三上 晃	三井記念病院
平林 和玄	公立昭和病院

岩瀬 英二	織本病院
斉藤 寿明	聖路加国際病院
小田 博夫	賛育会病院
芹沢 好一	佼成病院
松尾 茂	東京厚生年金病院
佐竹 明男	駿河台日大病院
徳永 貴士	杏林大学医学部附属病院
加藤 雄二	東京都済生会中央病院

4. 庶務人事研究会

研究会顧問

石原 信吾	病院管理研究所
石山 稔	聖路加国際病院
高原 敏夫	東京衛生病院
田野 嘉正	北品川総合病院
鈴木 摂子	河北病院
入山 和太次	武蔵野赤十字病院
冲山 俊雄	虎の門病院
川田 国雄	三楽病院
松田 詔	東京警察病院

5. 用度研究会

研究会顧問

落合 勝一郎	聖路加国際病院
安永 勘一郎	北品川総合病院
本田 力	虎の門病院
塩山 雅英	聖路加国際病院
石田 正雄	東京警察病院
古谷 一信	聖路加国際病院

杉本 晃一 織本 病院
園田 仙之助 山田 総合病院

長谷川 伸 東京都済生会中央病院

6. 施設研究会

研究会顧問

落合 勝一郎 聖路加国際病院
倉持 一雄 自治医科大学
石原 英世 東京警察病院
松岡 文男 癌研付属病院
中島 昭二郎 北品川総合病院
中西 照録 都立豊島病院
佐々木 賢一 聖路加国際病院
増淵 清 佼成病院
黒岩 久雄 聖マリアンナ医科大学病院

7. 会計経理研究会

研究会顧問

石原 信吾 病院管理研究所
酒泉 春雄 河北病院
清水 五郎 北品川総合病院
横山 達治 聖路加国際病院
戸張 義明 三楽病院
橋本 レツ子 虎の門病院

8. 労務研究会

研究会顧問

落合 勝一郎 聖路加国際病院
岡野 博 佼成病院
白石 太郎 聖路加国際病院
稲垣 武 済生会向島病院
増岡 清二 武蔵野赤十字病院

9. 看護管理部会

足達 さだ子 日本赤十字社医療センター
嶋崎 佐智子 東京警察病院
内田 卿子 聖路加国際病院
岩間 千代子 九段坂病院
佐藤 キク 駿河台日大病院
宮原 仮江 関東通信病院
石井 智恵子 東京都衛生局研修課
杉山 晴子 慶応義塾大学病院

10. 薬事管理部会

古川 正 東京警察病院
水野 謹爾 新宿赤十字産院
伊藤 誠二 東京厚生年金病院
原田 益夫 河北病院
浅見 信子 社会保険蒲田総合病院
広瀬 朝次 順天堂医院
斉藤 太郎 関東通信病院
杉原 正泰 東京女子医科大学病院
宮家 淳 東京都済生会中央病院
三島 ゆり 社会保険中央総合病院
高島 忠久 東京慈恵医大病院
岡 博 東京船員保険病院

11. 栄養管理部会

部会顧問

野村 秋守 野村病院
榊田 博 日本バプテスト病院
目黒 きよ 佼成病院
山本 麻喜子 東京衛生病院

長谷川 秀子 関東通信病院
 中川 渉男 日本専売公社東京病院
 松本 重子 東京厚生年金病院
 神田 紀子 駿河台日大病院
 中野 超 京都市立病院
 久保 昌子 芦屋市民病院
 岡部 道子 兵庫医大附属病院
 仲谷 鈴代 八尾市立病院
 馬場 昂 都立豊島病院

12. 調理研究会

京須 寿雄 駿河台日大病院
 福村 安治 順天堂医院
 相馬 大仁郎 東京医科大学病院
 高山 一郎 関東中央病院
 倍賞 玉之助 東京衛生病院
 石井 千鶴子 北品川総合病院

13. 病歴部会

高橋 政祺 杏林大学医学部
 田中 敏行 大阪通信病院
 竹村 喬 大阪通信病院
 栗田 静枝 聖路加国際病院
 大町 文子 日本パプテスト病院
 秋山 都美 聖マリアンナ医科大学病院
 三竹 年世子 東京警察病院
 戸川 登美子 関東通信病院
 宮本 順子 駿河台日大病院
 内山 越海子 都立豊島病院

14. 中小病院管理部会

高山 瑩 高山整形外科病院

榊田 博 日本パプテスト病院
 小林 一義 小林病院
 長崎 太郎 救世軍ブース記念病院
 笠木 茂伸 北品川総合病院
 秋島 勲郎 野村病院
 鎌田 利雄 北品川総合病院
 寺嶋 順一 亀田総合病院
 細田 健二 関川総合病院
 加藤 賢二 総合高津中央病院
 石田 貞治 大口病院
 大野 松次 京浜総合病院
 吉荒 一馬 京浜総合病院
 野村 益朗 第一病院
 矢作 忠政 京浜総合病院

15. 放射線部会

部会顧問

野辺地 篤郎 聖路加国際病院
 西田 義夫 佼成病院
 榊原 聡彦 日大板橋病院
 大谷 英尚 東京女子医大病院
 河野 通孝 北品川総合病院
 妹尾 昭一 都立大塚病院
 大内 周信 聖路加国際病院
 船橋 哲哉 都立大久保病院
 荻原 淳 北里大学病院
 栗田 道雄 関東通信病院
 川添 修身 聖マリアンナ医大附属東横病院
 虎渡 勇二 同愛記念病院
 橋場 悟 東京警察病院
 鍛形 圭造 啓明会中島病院

16. 臨床検査管理部会

部会顧問

井川 幸雄 東京慈恵会医科大学附属病院
河野 均也 日大板橋病院
藤沢 武吉 順天堂大学附属順天堂医院
佐藤 和身 駿河台日大病院
平沢 政人 昭和大学医学部附属病院
真鍋 真之 東京白十字病院
吉岡 稔 成田赤十字病院
後藤 直昭 社保船橋中央病院
中 甫 三井記念病院
河喜多 龍祥 東海大学病院

平沢 政人 昭和大学医学部病院

19. 図書室部会

後藤 久夫 東京都養育院病院
三竹 年世子 東京警察病院
足立 純子 聖路加国際病院
小田谷 律子 佼成病院
安川 文子 神奈川県立こども医療センター

17. ハウスキーピング部会

部会顧問

石原 信吾 病院管理研究所
水野 淑子 順天堂医院
小田桐 信子 慶応義塾大学病院
近藤 英二 聖路加国際病院
橋本 かつ 都立荏原病院
粕谷 良 虎の門病院
秋山 より子 初声荘病院

18. 病院監督者研修部会

部会顧問

落合 勝一郎 聖路加国際病院
三浦 秀夫 佼成病院
岡野 博 佼成病院
田中 栄一 日大板橋病院
内藤 均 聖路加国際病院
緒方 広市 武蔵野赤十字病院

昭和 51 年度各種委員会委員名簿

1. 教育委員会

榊 田 博 日本バプテスト病院
 大 野 松 次 京 浜 総 合 病 院
 堀 内 光 東 京 都 済 生 会 中 央 病 院
 笠 木 茂 伸 北 品 川 総 合 病 院
 石 原 信 吾 病 院 管 理 研 究 所
 北 原 哲 夫 東 京 通 信 病 院
 大 北 良 輔 八 幡 製 鉄 所 病 院

2. 病院制度委員会

左奈田 幸 夫 国 立 埼 玉 病 院
 渡 辺 茂 夫 国 立 熱 海 病 院
 守 屋 博 順 天 堂 医 院
 橋 本 寿三男 病 院 管 理 研 究 所
 千 葉 保 之 中 央 鉄 道 病 院
 室 賀 不 二 男 都 立 高 等 看 護 学 院
 山 本 修 都 立 高 等 看 護 学 院
 中 島 克 三 関 東 中 央 病 院
 柴 田 義 一 東 芝 林 間 病 院
 尾 村 偉 久 国 立 小 児 病 院
 田 中 恒 男 東 京 大 学 医 学 部
 吉 田 幸 雄 聖 マリアンナ 医 大 附 属 病 院
 石 原 信 吾 病 院 管 理 研 究 所
 井 上 昌 彦 川 崎 医 大 附 属 病 院
 一 条 勝 夫 自 治 医 科 大 学
 石 井 敬 日 本 国 有 鉄 道
 織 畑 秀 夫 東 京 女 子 医 大
 吉 岡 観 八 新 千 里 病 院
 尾 口 平 吉 全 国 自 治 体 病 院 協 議 会

3. 学術委員会

左奈田 幸 夫 国 立 埼 玉 病 院
 一 条 勝 夫 自 治 医 科 大 学
 須 川 豊 こ ども 医 療 セ ン タ ー
 榊 田 博 日 本 バ プ テ ス ト 病 院
 吉 岡 観 八 新 千 里 病 院
 奥 田 幸 造 公 立 能 登 総 合 病 院
 杉 岡 直 登 九 州 厚 生 年 金 病 院
 小 山 三 郎 大 阪 赤 十 字 病 院
 武 田 義 章 大 阪 厚 生 年 金 病 院
 吉 田 幸 雄 聖 マリアンナ 医 大 附 属 病 院
 倉 田 正 一 慶 応 大 学 医 学 部
 島 内 武 文 秋 田 労 災 病 院
 石 原 信 吾 病 院 管 理 研 究 所
 笠 木 茂 伸 北 品 川 総 合 病 院
 宮 地 知 男 宮 地 病 院
 横 倉 弘 佑 ヨ コ ク ラ 病 院
 三 宅 史 郎 日 大 医 学 部 病 院 管 理 学 教 室
 津 田 豊 和 病 院 管 理 研 究 所
 三 宅 浩 之 関 東 通 信 病 院

4. 国際病院委員会

吉 岡 観 八 新 千 里 病 院
 河 野 稔 北 品 川 総 合 病 院
 左奈田 幸 夫 国 立 埼 玉 病 院
 落 合 勝 一 郎 聖 路 加 国 際 病 院
 紀伊国 献 三 病 院 管 理 研 究 所
 東 義 晴 武 蔵 野 赤 十 字 病 院
 関 武 矩 聖 路 加 国 際 病 院
 吉 田 幸 雄 聖 マリアンナ 医 大 附 属 病 院

井上昌彦 川崎医大附属病院
 平野栄次 駿河台日大病院
 大野松次 京浜総合病院
 岩井宏方 岩井総合病院
 笠木茂伸 北品川総合病院
 安永貞雄 北品川総合病院
 橋本寿三男 病院管理研究所
 開原成允 東大病院
 堀内光 東京都済生会中央病院
 浅野誠一 浦和市立病院
 河合忠 自治医科大学
 川北祐幸 順天堂医院
 田口正生 日本建築協会
 遠山豪 遠山病院
 岡山義雄 岡山病院
 藤岡萬雄 埼玉県立小原療養所
 高山瑩 高山整形外科病院
 高木紹夫 深谷赤十字病院
 堀口銀二郎 堀口整形外科病院
 岩佐隆義 北品川総合病院
 吉武泰水 筑波大学

5. 臨床予防医学委員会

堀内光 東京都済生会中央病院
 檜田良精 関東中央病院
 水野近 三井健保組合
 鈴木豊明 東京警察病院
 笹森典雄 牧田総合病院
 田中剛二 東京都済生会中央病院
 安藤幸夫 聖路加国際病院
 清瀬闊 三井記念病院
 金沢鉄男 青森県立中央病院

丹野三男 仙台市立病院
 小関忠尚 京都第二赤十字病院
 寺田由紀夫 大阪赤十字病院
 宇津典彦 久留米大学医学部
 藤間弘行 藤間病院総合健診
 飯田昌 東芝中央総合健診
 高橋春雄 愛知県総合保健センター
 日野原重明 聖路加国際病院
 松岡研 PL東京健康管理センター
 井手一郎 聖マリア病院
 三木徹 丸山病院
 吉植庄平 青梅市立総合病院

6. 通信教育委員会

高橋政祺 杏林大学医学部
 中谷信之 大阪通信病院
 田中敏行 大阪通信病院
 竹村喬 大阪通信病院
 高野昭 宮城県立成人病センター
 栗田静枝 聖路加国際病院
 酒井隆子 京都市立病院
 大町文子 自宅
 犬塚貞光 福岡大学病院

7. コンピュータ委員会

河野稔 北品川総合病院
 青山松次 鳥海病院
 三宅浩之 関東通信病院
 津田豊和 病院管理研究所
 菊地二郎 大阪回生病院
 佐藤登志郎 北里大学医学部
 小川新吉 東京教育大学

松本 都喜夫 北品川総合病院
 加嶋 政昭 東京通信病院
 岩塚 徹 愛知県総合保健センター
 桜井 栄光 東大附属病院
 池田 博 慈恵医大附属病院
 斉藤 誠 虎の門病院
 三浦 秀夫 佼成病院
 山本 信吾 北品川総合病院
 岡田 行雄 日本電々公社レター通信本部
 青木 禧和 神奈川県リハビリテーションセンター

8. 編集委員会

渡邊 進 成田赤十字病院
 北原 哲夫 東京通信病院
 菱山 博文 福岡城南病院
 吉岡 観八 新千里病院
 鎌田 利雄 北品川総合病院

9. 海外医療研究委員会

落合 勝一郎 聖路加国際病院
 河野 稔 北品川総合病院
 奥田 幸造 金沢西病院
 関 武矩 聖路加国際病院

10. ホスピタルショウ委員会

河野 稔 北品川総合病院
 落合 勝一郎 聖路加国際病院
 小野田 敏郎 佼成病院
 内藤 景岳 南大阪病院
 遠山 豪 遠山病院
 大屋 拳吾 神戸市立中央病院
 吉岡 観八 新千里病院

青山 松次 鳥海病院
 野村 秋守 野村病院
 沢崎 博次 関東通信病院
 安永 貞雄 北品川総合病院

11. 企画委員会

菱山 博文 福岡城南病院
 榊田 博 日本パプテスト病院
 野村 秋守 野村病院
 河崎 茂 水間病院
 堀口 銀二郎 堀口整形外科病院
 島津 寿秀 甲州中央温泉病院
 平野 一弥 港北耳鼻咽喉科病院

12. 広報委員会

野村 秋守 野村病院
 吉岡 観八 新千里病院
 高木 紹夫 深谷赤十字病院
 菱山 博文 福岡城南病院
 岡山 義雄 岡山病院
 島津 寿秀 甲州中央温泉病院
 野村 正行 野村病院
 黒田 幸男 東京都済生会中央病院
 熊田 正春 日吉病院
 阪上 義和 堀口整形外科病院
 福井 順 福井病院
 藤岡 萬雄 埼玉県立小原療養所
 落合 勝一郎 聖路加国際病院

13. 組織委員会

島津 寿秀 甲州中央温泉病院
 岡山 義雄 岡山病院

杉岡直登 九州厚生年金病院
 小山三郎 大阪赤十字病院
 西能正一郎 西能整形外科病院
 川崎祐宣 川崎医大附属病院
 藤掛敏 藤掛第一病院
 藤原拓士 水島中央病院
 渡辺信夫 国保峡東病院
 河井博 河井病院
 福井順 福井病院
 沢崎博次 関東逋信病院
 遠藤香苗 和歌浦中央病院
 真木実 真木病院
 野村秋守 野村病院
 堀口銀二郎 堀口整形外科病院
 菱山博文 福岡城南病院

14. 医療費問題委員会

堀内光 東京都済生会中央病院
 高山瑩 高山整形外科病院
 河崎茂 水間病院
 諸橋芳夫 旭中央病院
 大野松次 京浜総合病院
 矢作忠政 京浜総合病院
 野村秋守 野村病院
 岡田敬蔵 都立松沢病院
 一条勝夫 自治医科大学
 牧武 牧病院
 尾口平吉 全国自治体病院協
 落合勝一郎 聖路加国際病院
 黒田幸男 東京都済生会中央病院

15. 経営委員会

岡田泰二 岡田病院
 吉岡観八 新千里病院
 岡山義雄 岡山病院
 河崎茂 水間病院
 柏戸正英 柏戸病院
 河井博 河井病院
 鳥羽増人 大町市立病院
 尾口平吉 全国自治体病院協
 岩永光治 十善会病院
 岩井宏方 岩井総合病院
 深瀬邦雄 日比谷病院

16. 税制委員会

小原知次郎 小原病院
 藤掛敏 藤掛第一病院
 諸橋芳夫 旭中央病院
 藤岡萬雄 埼玉県立小原療養所
 岡山義雄 岡山病院
 河崎茂 水間病院
 宮地知男 宮地病院
 中村了生 中村整形外科病院
 藤原拓士 水島中央病院
 河村虎太郎 河村病院
 多根要之助 多根病院
 土屋章 淵野辺病院
 細川一郎 静岡赤十字病院
 相沢正樹 相沢病院
 原安彦 原香椎病院
 森久雄 森会計事務所
 藺部雅一 兵庫医科大学

17. 看護制度委員会

榊 田 博 日本パプテスト病院
菱 山 博文 福岡城南病院
今 村 栄一 国立小児病院
赤 星 一郎 九州中央病院
森 日出男 名古屋保健衛生大学
左奈田 幸夫 国立埼玉病院
佐 藤 智 東京白十字病院
小 野 肇 汐見台病院
関 根 正雄 太田看護学院
紀伊国 献三 病院管理研究所
山 田 里津 三井高等看護学院
中 島 たつ子 東京都済生会中央病院
足 達 さだ子 日赤医療センター
内 田 卿子 聖路加国際病院
長谷川 美佐保 国立病院医療センター
吉 武 香代子 千葉大学看護学部
稲 田 龍一 都立墨東病院

18. 地域医療委員会

小 口 源一郎 昭和伊南総合病院
守 屋 博 順天堂医院
杉 政 孝 立教大学
諸 橋 芳夫 旭中央病院
行 天 良雄 N H K
佐 藤 智 東京白十字病院
鈴 木 淳 琉大附属病院
笠 木 茂伸 北品川総合病院
若 月 俊一 佐久総合病院
大 村 潤四郎 厚生年金事業団
奥 田 幸造 西沢西病院
紀伊国 献三 病院管理研究所

米 田 啓二 全国自治体病院協

19. 労務委員会

細 川 一郎 静岡赤十字病院
高 山 瑩 高山整形外科病院
稲 田 龍一 都立墨東病院
石 原 信吾 病院管理研究所
東 義 晴 武蔵野赤十字病院
平 野 栄次 駿河台日大病院
黒 田 幸男 東京都済生会中央病院
大久保 才一 天王寺病院
安 永 貞雄 北品川総合病院
白 石 太郎 聖路加国際病院
岡 野 博 佼成病院
細 田 健二 関川総合病院
林 秀雄 全国自治体病院協

20. 医師問題委員会

奥 田 幸造 金沢西病院
堀 内 光 東京都済生会中央病院
大久保 正一 日本大学医学部
新 谷 郁夫 公立能登総合病院
山 川 至 健保伏木病院
岩 井 宏方 岩井総合病院
名 倉 弓雄 名倉病院
長 崎 太郎 救世軍ブース記念病院
石 原 信吾 病院管理研究所
卜 部 美代志 河野臨床医学研究所
菅 原 虎彦 聖路加国際病院
牧 野 永城 聖路加国際病院
横 田 政信 静岡県立中央病院
光 富 慎吾 福岡県立遠賀病院

21. 厚生福利委員会

藤岡萬雄 埼玉県立小原療養所
中畠健 新潟県立吉田病院
藤掛敏 藤掛第一病院
会沢孝 大洗海岸病院
横田政信 静岡県立中央病院
酒泉春雄 河北病院
関根耕誠 草加市立病院
星沢政枝 駿河台日大病院
石井智恵子 都立墨東病院
渡邊進 成田赤十字病院
小原知次郎 小原病院
岩井宏方 岩井総合病院
大野松次 京浜総合病院

22. 中小病院管理委員会

岡山義雄 岡山病院
大野松次 京浜総合病院
加納繁美 加納病院
広野穰 辰野病院
河井博 河井病院
名倉弓雄 名倉病院
野村益朗 第一病院
高山肇 高山整形外科病院
深町庫次 葛南病院
中橋弥光 西陣病院
遠藤香苗 和歌浦中央病院
岡田泰二 岡田病院
福井順 福井病院
藤掛敏 藤掛第一病院
星源之助 総合会津中央病院
森政吉 金沢西病院

藤原拓士 水島中央病院
菱山博文 福岡城南病院
伊藤研 大雄会病院
多根要之助 多根病院
小原知次郎 小原病院
島津寿秀 甲州中央温泉病院

23. 病院会館建設委員会

堀口銀二郎 堀口整形外科病院
内藤景伍 南大阪病院
野村秋守 野村病院
菱山博文 福岡城南病院
岡山義雄 岡山病院
岡田泰二 岡田病院
小原知二郎 小原病院
篠崎功 篠崎病院
高山肇 高山整形外科病院
河野稔 北品川総合病院

24. 医療事故対策委員会

藤岡萬雄 埼玉県立小原療養所
小野田敏郎 佼成病院
菱山博文 福岡城南病院
細川一郎 静岡赤十字病院
細田健二 関川総合病院
樋口義弘 北品川総合病院
菅佐原正平 高山整形外科病院
内藤均 聖路加国際病院

25. 年金検討委員会

土屋章 渕野辺病院
石田貞治 大口病院

中橋	弥光	西陣	病院
榊田	博	日本バプテスト	病院
中野	久寿男	日本バプテスト	病院
安保	喜久郎	山本	病院
畠山	精治	遠山	病院
西本	順次郎	医療法人西本	会
松本	俊子	医療法人西本	会
遠藤	香苗	和歌浦中央	病院
坂上	義和	堀口整形外科	病院
有沢	源蔵	有沢	病院
薄田	隼男	南大阪	病院
赤座	斎	赤座	病院
久保	真一	聖	病院
原	義人	旭ヶ丘	病院
仁科	義幸	川崎医大附属川崎	病院
細田	精一	済生会滋賀県	病院
松本	治夫	済生会滋賀県	病院
榎本	敏雄	静岡厚生	病院
石黒	吉蔵	静岡厚生	病院
北村	常也	鳥取赤十字	病院
上嶋	潔	鳥取赤十字	病院
原	安彦	香椎原	病院
天野	健	石和温泉	病院
宮原	文雄	山梨温泉	病院
伊藤	研	大雄会	病院
山口	清	大雄会	病院
小原	知次郎	小原	病院

昭和 5 1 年 5 月 2 4 日

厚 生 大 臣 殿
自 治 大 臣 殿

日 本 病 院 会
会 長 阿 久 津 慎

スプリンクラー等防災設備取付に対し 特別措置の要望書

病院はその社会的使命から最も人命を尊重するところであり、特に病院火災予防についてはすべての病院が日夜細心の注意を払い、これが対策に万全の策を講じております。

さて、昭和 4 9 年の消防法一部改正によるスプリンクラー取付の猶余期限がいよいよ近づいてまいりましたが、現在の社会保険診療報酬下における病院経営ではこれが完全実施はとうてい不可能であり、かつまた現行診療報酬中には防災施設改善の経費はいっさい含まれておりません。消防法を遵守するには何らやぶさかではありませんが、かかる病院の窮状をご了解のうえ、国等において特別の措置を講じていただきたく要望いたします。

1. 国費または公費負担を願いたいこと
2. 公費負担不能なときは、長期低利の融資を配慮願いたいこと

厚生大臣
田中正己 殿

日本病院会
会長 阿久津 慎

社会保険診療報酬請求事務・コンピュータ 処理上の障害とその改善について（要望）

わが国の医療機関は、人件費をはじめ諸物価の高騰により、経営収支が極度に悪化し、まことに憂慮すべき事態に当面しております。

もとより各医療機関においても、経営危機打解のため常々あらゆる努力を傾けておりますが、このうち事務の合理化、ことに医療機関における事務の大半を占める“社会保険診療報酬請求に関する事務”の省力化には特に意を用いております。

しかし、年を追っての診療の多様化、また最近の医療費公費負担制度の増加などにより、事務はますます増大かつ複雑化しており、依然として診療面への圧迫および事務要員の増加を招いております。

このような事態を打開する最も有効な手段として、“コンピュータによる事務処理”の研究が活発化し、一部の医療機関においてはその実行に入っておりますが、そのほとんどは期待した効果が得られない状態であります。

その理由は、現行の社会保険診療報酬算定・請求に関する法令または行政指導の中に、コンピュータ処理上の障害となるものが多々あるからであります。そのために、コンピュータ利用を希望する医療機関は全国に多数あるにもかかわらず、大方はコンピュータ利用を躊躇または断念せざるを得ないのが実情であります。

社会保険診療に関する事務の全面的な簡素化については、常々要望していることではありますが、コンピュータ利用による事務合理化を目指す多数の医療機関が、当面痛切に改善を要望している事項を下記に列挙しました。

これら諸項目が改善されれば、コンピュータ利用の道が開け事務能率は著しく向上し、ひいては人件費膨脹の抑制に寄与すること明白でありますので、下記について早急に改善されるよう、切に要望するものであります。

記

社会保険診療報酬請求事務・コンピュータ処理上の障害とその改善要望
事項

社会保険診療報酬請求事務・コンピュータ処理上の
障害とその改善要望事項

項目	現状の問題点	解決策(要望)
1.レセプト 記号	漢字および特殊な記号(Ⓢ)などが使われているため漢字記入が手作業として残る。	ラインプリンターの文字内で処理できるよう(カナ・英数字で)コード化する。次善措置として今後新しく発行する健康保険証については、カナ・英数字でコード化する。
保険者名	一部コード化されているが、大部分の保険についてはその動きがなく、漢字記入の手作業が残る。	すべての保険者についてコード化する。次善措置として今後新しく発行する健康保険証については、カナ・英数字でコード化する。また当面の解決策としてカナ読み替え印字も可とする。
氏名	漢字書きが義務づけられているが、京都・大阪などではカナでも可とされている。	レセプトについては全県カナ書きで可とするよう統一見解を告示する。すでにガス・水道・電気・電話などの公共料金の請求書はすべて住所・氏名はカナ書きが通例となっており、官公庁・会社等の給料支払明細書もカナ書きが広く行なわれている。記号・番号でチェックされれば、氏名はカナであっても本人を証し得る。
病名	主として漢字書きが義務づけられている。	カナ・英字も可とするよう統一見解を告示する。次善措置として、一般化した略名および読み違いのないものについてはカナ・英字でも可とするよう統一見解を告示する。 例1. DM-糖尿病, HT-高血圧, UV-胃潰瘍 例2. コウケツアツ, トウニョウビョウ, カンボウ 例3. ガイジロウ(外痔瘻, 外耳瘻)のような間違いやすい病名は漢字書きもやむをえない。

項目	現状の問題点	解決策(要望)
入院レセプト	社会保険では認められていない。	外来レセプトと同様に入院分についてもコンピュータ作成を全国的に可とするよう告示する。
レセプトフォーマットの統一	法令により請求明細書のフォーマットは下記の如く各種に及び、その数20余種にもなる。 〔例〕入院・外来・健保本人・家族 国保・労災・生保・予防法・自賠法、その法の種類は別紙のごとくで、その当該官庁も厚生省をはじめ労働省・都道府県にまで及んでいる。	左記の如く請求フォーマットは各種に及んでおり、これらを簡素化する意味からも最低入院・外来の2本立に統一する。多種多様なフォーマットが存在することによる印刷費・事務手数などの社会的損失ははかりしれないものがあるので、第一段階としてたとえば大阪府におけるように8種類くらいに統合する。
2. 診療報酬大系 点数表	現在は甲表・乙表とあり、年を追うごとに甲表に近づく傾向にあるが、その算定基準が難解で、誤算定の危険もある。また、準用事項が多い。	甲・乙表の一本化と、算定方法の簡素化を計る。 準用事項は廃止し、1コードとして新設する。 できれば点数表を完全なコード化する。
医療費改正	告示から実施までの期間が短いいためその切替え作業が大変である。そのため誤算定も生ずる。	告示を早め、切替準備の期間的余裕をみる。
診療行為のコード化	現在では一部同効果薬品などコード化らしきものもあるが、その他の診療行為についてはほとんどコード化されていない。	当局において全診療行為について医療機関が利用し易い標準コード化を実施する。
診療行為名の略号化	基金によりその扱い方が異なるうえに、手術名等については非常に表現法に困難をきたしている。	同効果薬品については標準名を使うとか、検査については略称を使うとか、また手術等については区分コードに変えるとか簡素化する。できれば医療機関が利用し易い標準コード大系を作る。

要 望 書

第二回日本病院会学会において、国民皆保険下における病院医療の諸問題につき熱心に討議されました。

なかでも入院時室料差額ならびに、付添看護料が重大な社会問題となつていくことがとり上げられ、その原因は国民宿舍の宿泊料にも及ばない入院料にあるとの結論に達しました。

政府は速やかに適正な医療を行いうるよう、左記事項を早急に実現されんことを要望します。

記

近代医療を推進しうるよう技術料ならびに入院料（室料・看護料・給食料）を適正に引き上げよ。

昭和五十一年七月六日

日 本 病 院 会

会長 阿久津 慎

「電気税・ガス税」減免に関する請願

請願者 東京都千代田区二番町二番地

日本病院会

会長 阿久津 慎

紹介議員

病院経営向上近代化のため税制上「電気税・ガス税」を非課税とされたい。

理 由

電気税・ガス税は、各種鉱工業・国鉄・地方私鉄・学校学術研究・綿毛紡績業等においては、産業政策上非課税になつてゐる。

病院は、私的病院のみならず公的病院においても非課税ではない。社会福祉政策上、病院に対しても電気税・ガス税を非課税とされたい。

昭和五十一年七月十三日

厚生大臣

田中正己 殿

殿

病院診療報酬改訂に関する要望書

現在の診療報酬は、昭和五十一年二月の時点において調整し、四月一日より改訂されたものである。

その後の人件費・物価の変動に対処すると共に、救急医療・病院のオーブン化・新技術の導入等、病院の近代化を推進し、室料差額・付添看護等に対する社会的要望に応えうるよう入院部門に関する診療報酬に対し、少なくとも二十パーセント以上の改訂を要望する。

右 昭和五十二年三月十九日、日本病院会臨時総会の決議により要望する。

昭和五十二年三月二十八日

社団法人日本病院会

会長 阿久津 慎

厚生大臣

渡辺 美智雄 殿

議案 第1号議案 歳入歳出決算の承認を求める件

昭和51年度一般会計歳入歳出決算報告書

自 昭和51年 4 月 1 日

至 昭和52年 3 月 3 1日

日本病院会

I 歳入の部		
1. 前年度よりの繰越金	6,607,668	
2. 本年度歳入総額	<u>166,271,450</u>	<u>172,879,118</u>
II 歳出の部		
1. 本年度歳出総額	154,931,001	
2. 次年度へ繰越金	<u>17,948,117</u>	<u>172,879,118</u>

昭和51年度出版部特別会計収支決算書

自 昭和51年 4 月 1 日

至 昭和52年 3 月 3 1日

I 収入の部		
1. 前年度よりの繰越金	486,480	
2. 本年度収入総額	<u>8,209,862</u>	<u>8,696,342</u>
II 支出の部		
1. 本年度支出総額	8,644,693	
2. 一般会計へ繰入金	<u>51,649</u>	<u>8,696,342</u>

昭和51年度診療録管理通信教育特別会計収支決算書

自 昭和51年 7 月 1 日

至 昭和52年 3 月 3 1日

注 9ヶ月分

I 収入の部		
1. 前年度よりの繰越金	4,309,443	
2. 本年度収入総額	<u>9,780,294</u>	<u>14,089,737</u>
II 支出の部		
1. 本年度支出総額	9,176,785	
2. 一般会計へ繰入金	<u>4,912,952</u>	<u>14,089,737</u>

昭和51年度歳入決算報告書

自 昭和51年 4 月 1 日
至 昭和52年 3 月 31日

日本病院会

単位：円

科 目 款 項 目	歳入合計	年度予算	予算に対する 増減(△印は減)	備 考
1. 会 費	88,482,066	106,268,000	△17,785,934	
1. 会 費	88,482,066	106,268,000	△17,785,934	
1. 通 常 会 費	77,251,186	82,100,000	△ 4,848,814	2,300 ÷ 1,622 = 70.5% 1,725 ÷ 1,622 = 94.0% 82,100,000 ÷ 77,251,186 = 94.1 82,100,000 ÷
2. 賛 助 会 員 会 費	6,449,700	7,168,000	△ 718,300	予算 A 63 B 86 C 101 実績 A 63 B 70 C 71
3. 過 年 度 会 費	4,781,180	17,000,000	△12,218,820	実納入数 111施設
2. 事 業 収 入	59,674,539	51,412,000	8,262,539	
1. 購 読 料	1,541,794	1,420,000	121,794	
1. 雑 誌	1,537,794	1,420,000	117,794	予算 会員170名 非会員66名 実績 会員190名 非会員76名 20名増 10名増
2. ニ ュ ー ス	4,000	-	4,000	
2. 受 講 料	23,986,560	20,119,000	3,867,560	
1. 定 例 研 究 会	10,516,760	4,276,000	6,240,760	メディカルクラーク通信教育6,638,000含む 10,516,760 - 6,638,000 = 3,878,760 平均 4,276,000 - 3,878,760 = 397,240円 予11回実 89回 40.7%
2. 内 科 臨 床 部 会	6,000	-	6,000	
3. 各 地 研 究 会	13,463,800	15,843,000	△ 2,379,200	予算 30回 3,073人見込 6,500,000円 実 28回 1,967人 等が合算して30回 2,379,200円と成る
3. 参 加 料	8,713,000	14,143,000	△ 5,430,000	
1. セ ミ ナ ー	7,983,000	12,118,000	△ 4,135,000	予定見込数 1,172名 実績 935名 237名 参加費が10,000~35,000円と高額のため
2. 海 外 視 察 研 究 会	730,000	2,025,000	△ 1,295,000	予10回 実施5回のうち南米、韓国2回入金40名不足
4. 部 会 費	25,433,185	15,730,000	9,703,185	
1. 人 間 ド ッ ク 部 会 費	4,307,850	3,600,000	707,850	32増及前年未納分が入金のため
2. 人 間 ド ッ ク 指 定 料	1,380,000	1,380,000	0	
3. 人 間 ド ッ ク 手 帳 代	19,745,335	10,750,000	8,995,335	50年分 51年分 52年分 3,600,000 15,000,000 1,152,000
3. 寄 附 金	700,000	400,000	300,000	
1. 一 般 寄 附 金	700,000	400,000	300,000	
1. 一 般 寄 附 金	300,000	200,000	100,000	モダンホスピタル 予算200,000 実績300,000
2. 行 事 補 助 金	400,000	200,000	200,000	ホ2回助成金 予100,000 実績200,000 ドック学会助成金 予算100,000 実績200,000
4. 雑 収 入	17,414,845	10,420,000	6,994,845	
1. 雑 収 入	17,414,845	10,420,000	6,994,845	
1. 預 金 利 息	1,239,367	500,000	739,367	
2. 広 告 収 入	4,351,450	5,000,000	△ 648,550	実績には 未収681,600含まず
3. 事 務 所 費 分 担 金	3,110,000	2,760,000	350,000	看護共済会 連中より増額と成る
4. 特 別 会 計 余 剰 金	8,714,028	2,160,000	6,554,028	
5. 繰 越 金	6,607,668	3,000,000	3,607,668	
1. 繰 越 金	6,607,668	3,000,000	3,607,668	
1. 前 年 度 繰 越 金	6,607,668	3,000,000	3,607,668	
歳 入 合 計	172,879,118	171,500,000	1,379,118	

昭和51年度歳出決算報告書

自 昭和51年 4 月 1 日
至 昭和52年 3 月 31 日

日本病院会

単位：円

科 目 款 項 目	歳出合計	年度予算	予算に対する 増減(△印は減)	備 考
1. 事務諸費	65,016,156	71,500,000	△ 6,483,844	
1. 職員給与費	45,404,917	46,800,000	△ 1,395,083	
1. 俸 給	27,280,690	28,100,000	△ 819,310	
2. 諸 手 当	18,124,227	18,700,000	△ 575,773	
2. 厚生費	4,498,431	4,700,000	△ 201,569	
1. 厚 生 費	187,480	200,000	△ 12,520	
2. 退職積立金	1,141,459	1,240,000	△ 98,541	
3. 法定福利費	3,169,492	3,260,000	△ 90,508	
3. 旅費交通費	1,858,587	2,500,000	△ 641,413	
1. 旅 費	555,167	1,000,000	△ 444,833	
2. 交 通 費	1,303,420	1,500,000	△ 196,580	
4. 事務所管理費	5,274,551	5,900,000	△ 625,449	
1. 事務所賃借料	3,151,612	3,400,000	△ 248,388	
2. 水道光熱費	782,977	960,000	△ 177,023	
3. 備 品 費	1,076,680	1,200,000	△ 123,320	
4. 雑 費	263,282	340,000	△ 76,718	
5. 需 要 費	5,991,736	10,600,000	△ 4,608,264	
1. 消耗備品費	22,600	50,000	△ 27,400	
2. 消耗品費	1,080,410	1,440,000	△ 359,590	
3. 印刷製本費	808,846	3,000,000	△ 2,191,154	
4. 公租公課	8,000	30,000	△ 22,000	
5. 通信運搬費	2,903,370	5,050,000	△ 2,146,630	
6. 借用及損料	571,520	220,000	351,520	
7. 臨時職員費	195,965	210,000	△ 14,035	
8. 雑 費	401,025	600,000	△ 198,975	
6. 交 際 費	1,987,934	1,000,000	987,934	
1. 会長交際費	489,654	500,000	△ 10,346	
2. 一般交際費	1,498,280	500,000	998,280	
2. 会議費	13,664,134	15,700,000	△ 2,035,866	
1. 総 会 費	1,721,487	1,200,000	521,487	
1. 総 会 費	1,721,487	1,200,000	521,487	
2. 役員会費	11,942,647	14,500,000	△ 2,557,353	
1. 常任理事会費	6,461,155	8,300,000	△ 1,838,845	
2. 理事会費	3,008,339	4,000,000	△ 991,661	
3. 代議員会費	2,473,153	2,200,000	273,153	
3. 事業費	74,149,482	80,000,000	△ 5,850,518	
1. 委員会	12,739,690	14,800,000	△ 2,060,310	
1. 各種委員会調査研究費	5,456,786	7,500,000	△ 2,043,214	
2. 社保関係調査研究費	3,379	500,000	△ 496,621	
3. ドック手帳代	7,279,525	6,700,000	579,525	
4. 会場借用費	0	100,000	△ 100,000	
2. 定例研究会	8,533,260	3,500,000	5,033,260	メデイカルマーク通信教育含む
1. 旅費交通費	500,720	240,000	260,720	4,591,160
2. 印刷製本費	3,665,677	450,000	3,215,677	240,420
3. 通信運搬費	1,672,572	950,000	722,572	3,271,870
4. 謝 礼 金	604,750	240,000	364,750	680,940
5. 会場借用費	1,711,744	1,200,000	511,744	226,250
6. 委員会打合会費	377,797	420,000	△ 42,203	165,480
				6,200

科 目		歳 出 合 計	年 度 予 算	予 算 対 する 増 減 (△ 印 は 減)	備 考
款	項 目				
3. 事 業 費	3. 各地研究会	17,454,248	20,800,000	△ 3,345,752	
	1. 旅 費 交 通 費	8,120,323	11,250,000	△ 3,129,677	
	2. 印 刷 製 本 費	2,734,350	2,000,000	734,350	
	3. 通 信 運 搬 費	1,450,490	1,400,000	50,490	
	4. 謝 礼 金	656,621	1,080,000	△ 423,379	
	5. 会 場 借 用 費	1,688,793	2,640,000	△ 951,207	
	6. 委 員 会 打 合 会 費	923,663	1,200,000	△ 276,337	
	7. 討 論 会 費	1,880,008	1,230,000	650,008	
	4. 海外視察研究会	1,604,109	1,400,000	204,109	
	1. 旅 費 交 通 費	663,410	50,000	613,410	
	2. 印 刷 製 本 費	424,031	190,000	234,031	
	3. 通 信 運 搬 費	433,752	230,000	203,752	
	4. 会 場 費	48,090	70,000	△ 21,910	
	5. 打 合 会 費	34,826	860,000	△ 825,174	
	5. セミナー	8,368,156	8,000,000	368,156	
	1. 討 論 会 費	1,264,703	1,300,000	△ 35,297	
	2. 旅 費 交 通 費	2,422,430	1,580,000	842,430	
	3. 印 刷 製 本 費	1,055,172	820,000	235,172	
	4. 通 信 運 搬 費	713,125	900,000	△ 186,875	
	5. 謝 礼 金	1,410,997	1,900,000	△ 489,003	
	6. 会 場 借 用 費	1,076,570	1,140,000	△ 63,430	
	7. 委 員 会 打 合 会 費	42,244	190,000	△ 147,756	
	8. 食 事 費	382,915	170,000	212,915	
	6. 資料整備費	242,240	500,000	△ 257,760	
	1. 諸 法 規 整 備 費	242,240	500,000	△ 257,760	
	7. 広 報 費	20,751,957	25,900,000	△ 5,148,043	
	1. 編 集 費	2,607,204	2,500,000	107,204	
	2. 印 刷 製 本 費	12,959,830	16,300,000	△ 3,340,170	
	3. 発 送 費	5,106,759	6,920,000	△ 1,813,241	
	4. 取 材 費	78,164	180,000	△ 101,836	
	8. 助 成 金	3,330,619	3,600,000	△ 269,381	
	1. 日 本 病 院 会 学 会	2,036,204	2,300,000	△ 263,796	
	2. 人 間 ド ッ ク 学 会	704,415	800,000	△ 95,585	
3. 各 地 病 院 協 会 研 究 会	590,000	500,000	90,000		
9. 海外病院協会関係費	1,125,203	1,500,000	△ 374,797		
1. アジア病院連盟会議費	934,446	1,400,000	△ 465,554		
2. I.H.F 会 議 費	190,757	100,000	90,757		
4. 負 担 金	860,735	800,000	60,735		
1. 負 担 金	860,735	800,000	60,735		
1. 国 際 病 院 連 盟	525,585	500,000	25,585		
2. アジア病院連盟	142,050	150,000	△ 7,950		
3. 諸 会 費	193,100	150,000	43,100		
5. 予 備 費	1,240,494	3,500,000	△ 2,259,506		
1. 予 備 費	1,240,494	3,500,000	△ 2,259,506		
1. 予 備 費	1,240,494	3,500,000	△ 2,259,506		
歳 出 合 計	154,931,001	171,500,000	△ 16,568,999		

福祉食品流通研究会
500,000含む

病院大会費

財 産 目 録

昭和52年3月31日現在

日 本 病 院 会

単位：円

I 資 産 の 部

1. 現 金	東京手元有高	150,675	
"	大阪手元有高	55,869	206,544
2. 振 替 貯 金	東京地方貯金局小切手口座	674,575	
"	" 一般口座	751	675,326
3. 当 座 預 金	富士銀行 麴町支店		548,123
4. 普 通 預 金	" "	1,568,849	
"	太陽神戸銀行 " (通信教育部)	956,269	
"	" " (出版部)	51,239	
"	協和銀行 市ヶ谷支店	33,750	
"	第一勧業銀行 麴町支店 (通信教育部)	1,912,952	
"	三和銀行 谷町支店 (大阪)	190,148	4,713,207
5. 通 知 預 金	太陽神戸銀行 麴町支店	5,000,000	
"	協和銀行 市ヶ谷支店	3,000,000	8,000,000
6. 定 期 預 金	富士銀行 麴町支店	2,000,000	
"	第一勧業銀行 "	3,000,000	5,000,000
7. 未 収 金	出版部図書販売未収分		365,190
8. 図 書 繰 越 高	" 別紙明細書のとおり		2,853,637
9. 前 払 金	千代田四番町局郵便計器予納金		335,357
10. 立 替 金	大城三郎以下3名傷病手当立替分	189,600	
"	国際病院学会ほかゼロックス代 13,991 郵便計器代 1,700	15,691	205,291
資 産 計			22,902,675

II 負 債 の 部

1. 未 払 金	東京労働基準局確定労働保険料	296,576	
"	榊花山3/19 勉強会、各種委員会 反省会、懇親会費	696,110	992,686
2. 借 入 金	出版部平野常任理事より一時借入		1,100,000
3. 預 り 金	社会保険料従業員預り	261,732	
"	源泉所得税、市町村民税預り	227,340	
"	52年度会費 山本病院	55,920	
"	" 三菱電気(株)	60,000	
"	" 耳納高原病院	37,920	
"	" 大沢商会 (重藤直樹)	8,000	
"	" 京都産院	26,400	
"	" 三重県立一志病院	37,560	
"	総婦長セミナー養育院附属病院	30,000	
"	アメリカ給食施設視察申込金 佐藤 亘	50,000	
"	" 神田紀子	50,000	
"	" 札幌花園病院	50,000	
"	出版部 重複入金分ほか	155,000	1,049,872
4. 退 職 手 当 積 立 金	大城三郎以下18名		1,812,000
負 債 計			4,954,558

III 次 年 度 へ 繰 越

17,948,117

負債及び繰越計

22,902,675

備品償却内訳（51年度）

昭和52年3月31日現在

品名	購入先	取得年月	取得価格	期首価格	耐用年数	償却率	償却費	期末価格	償却累計
片袖机	(株)岡村製作所	50. 5. 27	27,600	24,007	15	0.142	3,409	20,598	7,002
”	”	50. 6. 30	27,600	24,334	15	0.142	3,455	20,879	6,721
”	”	”	27,600	24,334	15	0.142	3,455	20,879	6,721
回転椅子	(株)岡村製作所	50. 5. 27	7,200	6,263	15	0.142	889	5,374	1,826
”	”	50. 6. 30	7,200	6,348	15	0.142	901	5,447	1,753
”	”	”	7,200	6,348	15	0.142	901	5,447	1,753
両開き書庫	”	50. 6. 30	24,800	21,865	15	0.142	3,105	18,760	6,040
”	”	”	24,800	21,865	15	0.142	3,105	18,760	6,040
ロッカー	”	”	24,800	21,865	15	0.142	3,105	18,760	6,040
リコー専用テーブル	(株)小林商会	50.11. 4	27,000	24,124	15	0.142	3,426	20,698	6,302
レターケース	ニコニコ堂	50. 7. 24	5,217	4,661	15	0.142	662	3,999	1,218
”	”	50. 8. 2	5,217	4,723	15	0.142	671	4,052	1,165
手提金庫	”	50. 7. 24	5,577	4,034	5	0.369	1,489	2,545	3,032
伝票ボックス	”	”	4,498	3,253	5	0.369	1,200	2,053	2,445
チェックライター	”	50. 7. 29	10,344	7,481	5	0.369	2,760	4,721	5,623
黒板	”	50. 8. 7	22,307	18,589	8	0.250	4,647	13,942	8,365
50年度計	”		258,960	224,094					
片袖机	(株)岡村製作所	51. 4. 5	27,600		15	0.142	3,919	23,681	3,919
”	”	”	27,600		15	0.142	3,919	23,681	3,919
”	”	51. 9. 1	27,600		15	$0.142 \times \frac{7}{12}$	2,286	25,314	2,286
タイプ用スチール机	菅沼タイプライター	51. 4. 23	45,000		15	0.142	6,390	38,610	6,390
回転椅子	(株)岡村製作所	51. 4. 5	7,200		15	0.142	1,022	6,178	1,022
”	”	”	7,200		15	0.142	1,022	6,178	1,022
”	”	51. 4. 1	6,100		15	0.142	866	5,234	866
”	”	51. 9. 1	6,100		15	$0.142 \times \frac{7}{12}$	505	5,595	505
脇机	”	51. 9. 20	16,500		15	$0.142 \times \frac{7}{12}$	1,367	15,133	1,367
タイプライター	菅沼タイプライター	51. 4. 23	275,000		5	0.369	101,475	173,525	101,475
タイプ用活字	”	51. 4. 23	35,460		5	0.369	13,085	22,375	13,085
タイプ用ライト	”	51. 4. 23	9,500		15	0.142	1,349	8,151	1,349
ゲスットナーマシン	ゲスットナーリミテッド	51. 4. 29	498,000		5	0.369	183,762	314,238	183,762
マシンキャビネット	”	”	40,000		15	0.142	5,680	34,320	5,680
ハガキガイド	”	”	7,200		5	0.369	2,657	4,543	2,657
シャープ12ケタ電卓	(株)十採商会	52. 3. 31	21,000		5	0.369	646	20,354	646
黒板	ニコニコ堂	51. 7. 20	19,620		8	$0.250 \times \frac{9}{12}$	3,679	15,941	3,679
51年度計			1,076,680						
東京計			1,335,640	224,094			370,809	929,965	405,675
大阪テーブルコーダー	大阪府医師会 協同組合	50. 6. 30	22,000	15,235	5	0.369	5,622	9,613	12,387
合計			1,357,640	239,329			376,431	939,578	418,062

昭和51年度出版部特別会計収支決算書

自 昭和51年4月1日
至 昭和52年3月31日

日本病院会

収入の部

科目	金額	備考
1. 図書販売高	3,624,850	入金分のみ
1. 図書販売高	3,502,000	
2. 発送収入	122,850	
2. 雑収入	330,012	
1. 預金利息	18,912	
2. 広告収入	300,000	一般会計および 平野常任理事より
3. 雑収入	11,100	
3. その他収入	4,255,000	
1. 借入金	4,100,000	
2. 預り金	155,000	
本年度収入計	8,209,862	現金・預金
4. 繰越金	486,480	
1. 前年度繰越金	486,480	
収入合計	8,696,342	

支出の部

単位：円

科目	金額	備考
1. 印刷発送費	2,995,653	一般会計へ
1. 印刷製本費	2,832,223	
2. 発送費	163,430	
2. 雑支出	108,110	
1. 謝礼金	8,540	
2. 広告料	95,150	現金・預金
3. 雑費	4,420	
3. その他支出	5,540,930	
1. 借入金返済	3,000,000	
2. 前期末払金支払	2,540,930	
本年度支出計	8,644,693	現金・預金
4. 繰入金	51,649	
1. 一般会計へ繰入	51,649	
支出合計	8,696,342	

販売明細表

図書名	数量	単価	金額
保健叢書	6,033	150	904,950
病院職員ハンドブック	500	200	633,250
	2,133	250	
病院診療	35	2,000	202,500
	53	2,500	
病医院へのコンピュータ 導入の早分り	1,213	400	773,200
	576	500	
長期療養患者の分類法	355	1,440	574,200
	35	1,800	
母親学級テキスト	3,044	250	761,000
計			3,849,100
発送料			140,940
合計			3,990,040
入記の中入金分			3,624,850
” 未収分			365,190

たな卸明細表

図書名	数量	単価	金額	
保健叢書	高血圧	3,432	82	281,424
	糖尿病	134	66	8,844
	肥満	3,164	74	234,136
	動脈硬化症	1,124	53	59,572
	慢性胃炎	4,430	41	181,630
	肝臓病	1,250	86	107,500
	肛門と直腸の病気	3,408	86	293,088
病院職員ハンドブック	858	98	84,084	
病院診療	903	1,060	957,180	
病医院へのコンピュータ 導入の早分り	236	175	41,300	
長期療養患者の分類法	505	619	312,595	
母親学級テキスト	2,118	138	292,284	
合計			2,853,637	

財産目録

I 資産の部		
1. 現金	手元有高	410
2. 普通預金	第一勧銀麹町支店	51,239
3. 未収金		365,190
4. 図書繰越高		2,853,637
資産計		<u>3,270,476</u>
II 負債の部		
1. 借入金	平野常任理事より	1,100,000
2. 預り金	重複入金分ほか	155,000
負債計		<u>1,255,000</u>
III 繰入金		
1. 一般会計へ繰入金		2,015,476
負債および繰入金計		<u>3,270,476</u>

印刷製本明細表

図書名	数量	単価	金額
保健叢書(肝臓病)	2,000	86.20	172,400
病院職員ハンドブック	1,500	89.27	133,900
	2,000	98	196,000
病医院へのコンピュータ 導入の早分り	1,200	345.85	415,020
	1,000	174.72	174,720
長期療養患者の分類法	1,200	619.51	743,403
母親学級テキスト	3,000	193.47	580,400
	3,000	138.79	416,380
合計			2,832,223

昭和51年度診療録管理通信教育特別会計収支決算書

自 昭和51年7月1日
至 昭和52年3月31日

日本病院会

収入の部

単位：円

科目	収入合計	年度予算	予算に対する増減(△印は減)	備考
受講料	8,912,000	9,690,000	△ 778,000	
雑収入	868,294	500,000	368,294	
前年度繰越金	4,309,443	3,303,617	1,005,826	
収入合計	14,089,737	13,493,617	596,120	

支出の部

科目	支出合計	年度予算	予算に対する増減(△印は減)	備考
人件費	1,080,000	2,160,000	△ 1,080,000	
旅費・交通費	899,790	828,000	71,790	
物品費	30,990	100,000	△ 69,010	
印刷・製本	991,170	1,051,000	△ 59,830	
通信・運搬	949,744	923,000	26,744	
諸費	51,400	42,000	9,400	
教材費	2,142,901	2,380,000	△ 237,099	
学習費	1,986,540	1,976,000	10,540	
指導料	1,025,250	1,857,000	△ 831,750	
会議費	19,000	170,000	△ 151,000	
余剰金	4,912,952	2,006,617	2,906,335	
支出合計	14,089,737	13,493,617	596,120	

財産目録

I 資産の部

1. 普通預金	第一勸業銀行麹町支店	1,912,952
2. 定期預金	第一勸業銀行麹町支店	3,000,000
資産計		<u>4,912,952</u>

II 本会計へ繰入金

1. 前年度繰越金	4,309,443
2. 本年度余剰金	603,509
繰入金計	<u>4,912,952</u>

脚注：診療録管理通信教育の一般会計への繰入金（特別会計余剰金）は下記のとおりです。

1. 51年4月～52年3月人件費繰入	120,000円×12ヶ月	1,440,000	
2. 年度末繰入金		4,912,952	6,352,952

以上の決算につき、監査致しましたところ適正、妥当なるものと認めます。

昭和52年4月21日

監事 太田 清一 ㊟

監事 戸川 潔 ㊟

議事 第2号議案 会員増強に関する件